

# V 結果と考察 (第1部)

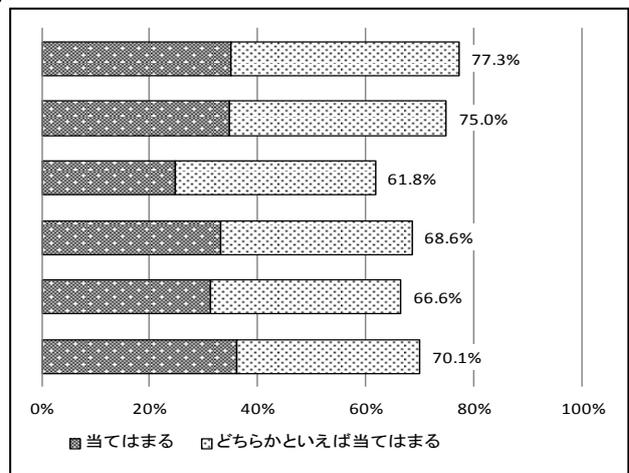
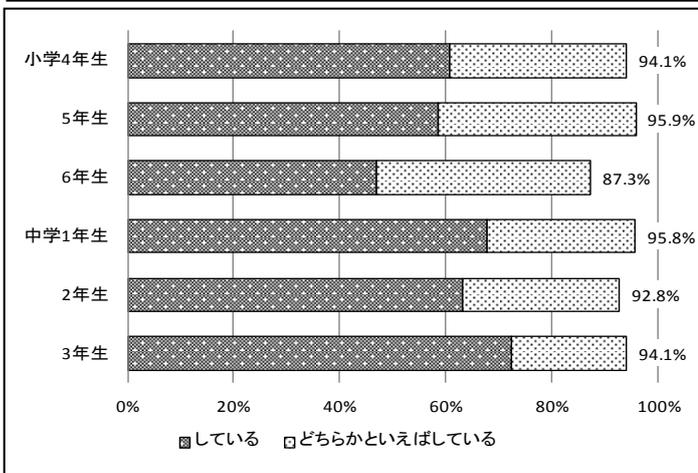
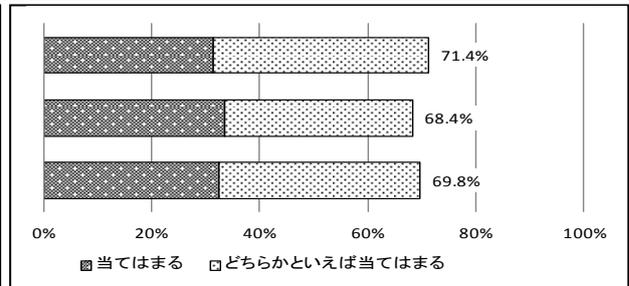
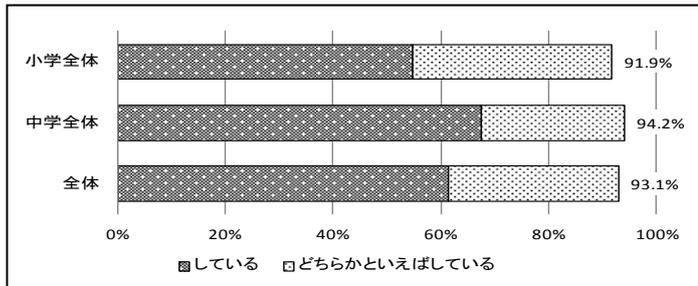
## 1 Student First (児童・生徒調査より)

### (1) ①【学習形態】、②【学習状況の好悪】

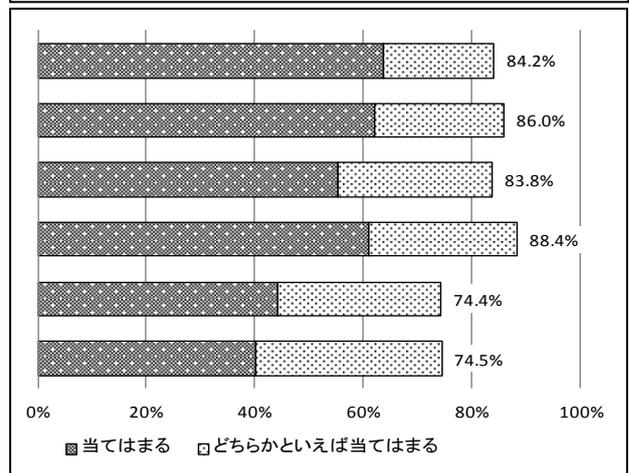
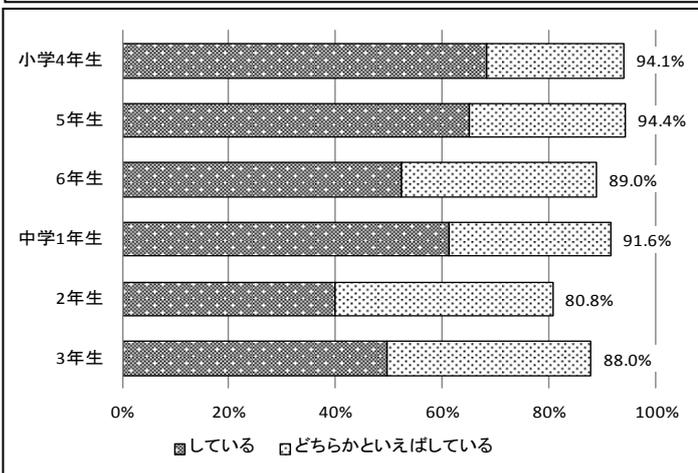
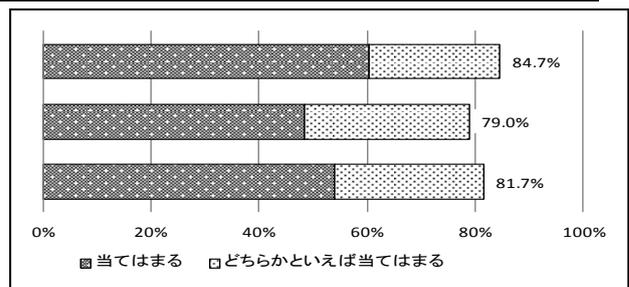
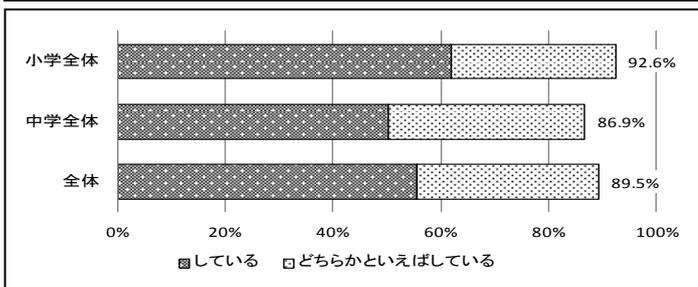
①あなたがこれまでに受けた授業では、次のことをどれくらいしていますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。【学習形態】

②次のような授業のやり方は好きですか。【学習形態の好嫌】

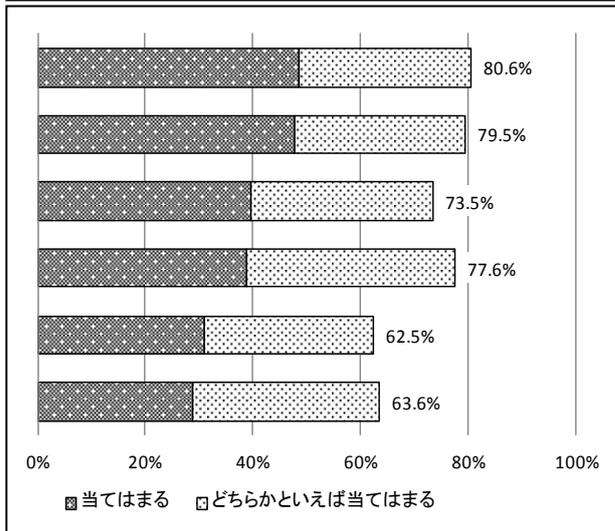
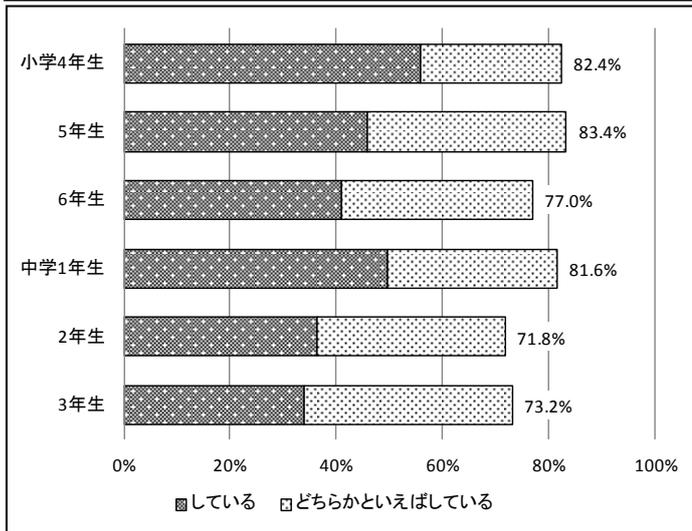
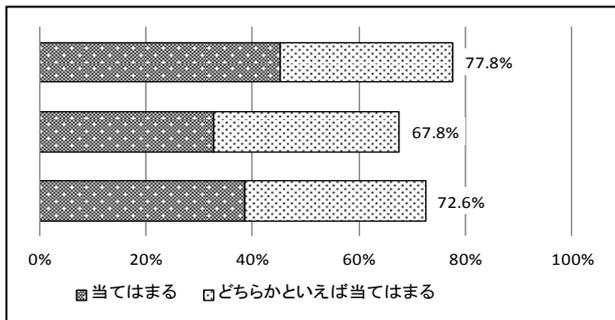
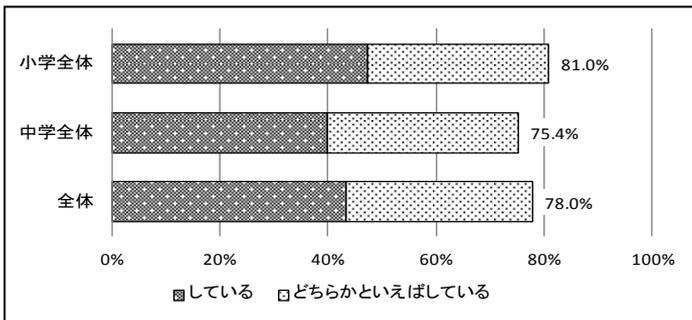
#### 問1&問8 みんなで先生の説明を聞く学習。C1【講義形式の学習】&C8【講義形式の学習の好嫌】



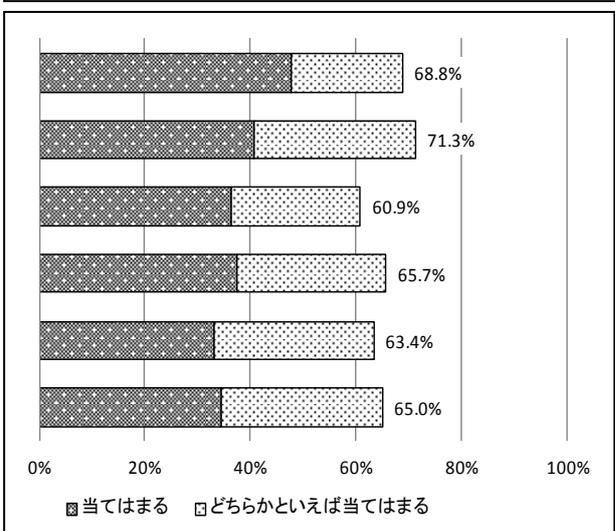
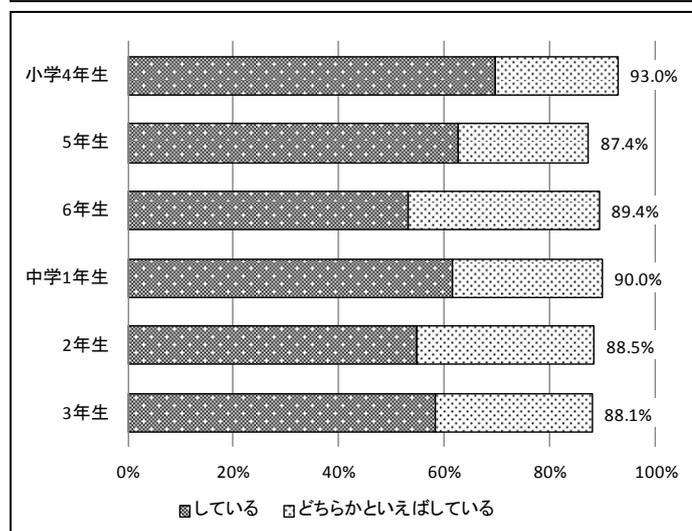
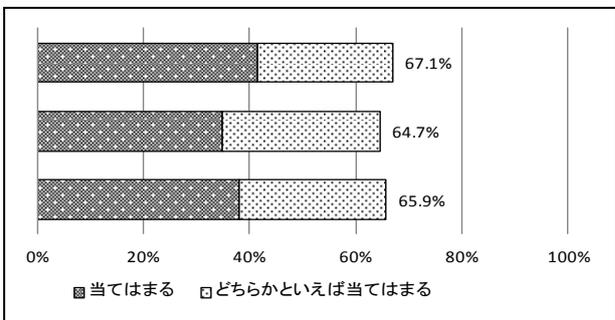
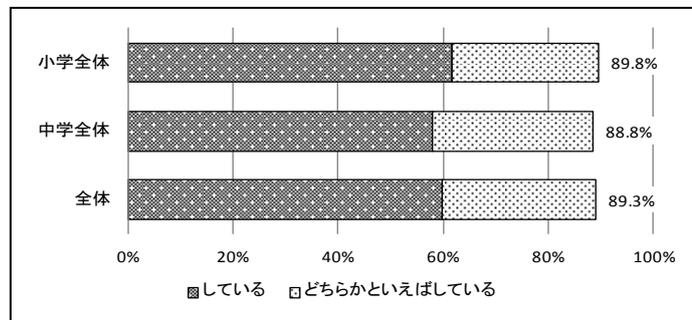
#### 問2&問9 グループ学習。C2【グループ学習】&C9【グループ学習の好嫌】



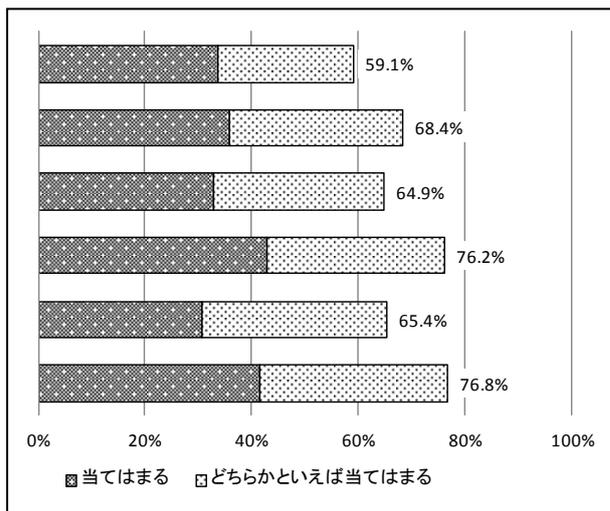
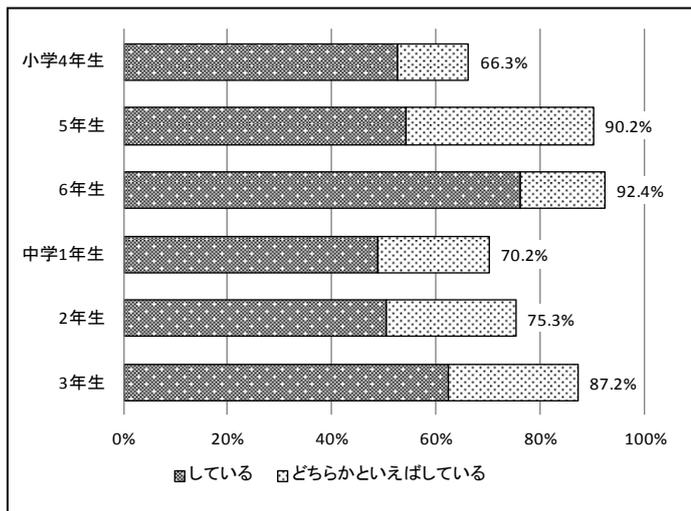
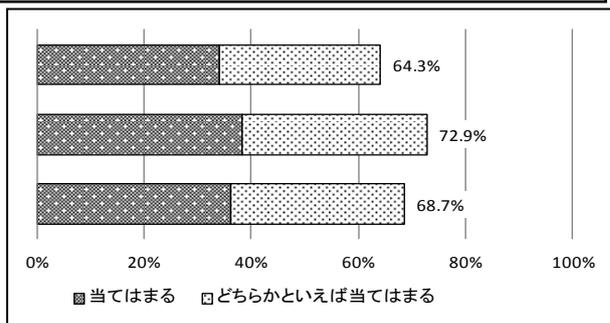
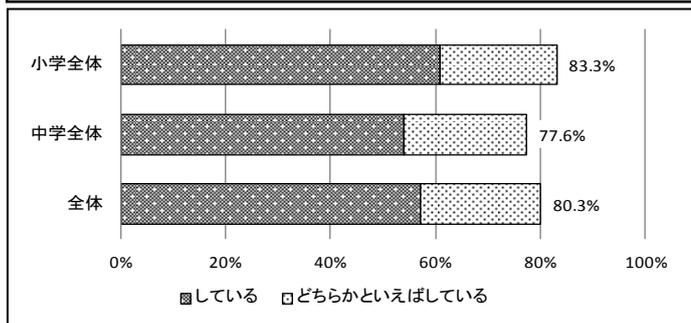
問3&問10 ペア学習。C3【ペア学習】&C10【ペア学習の好嫌】



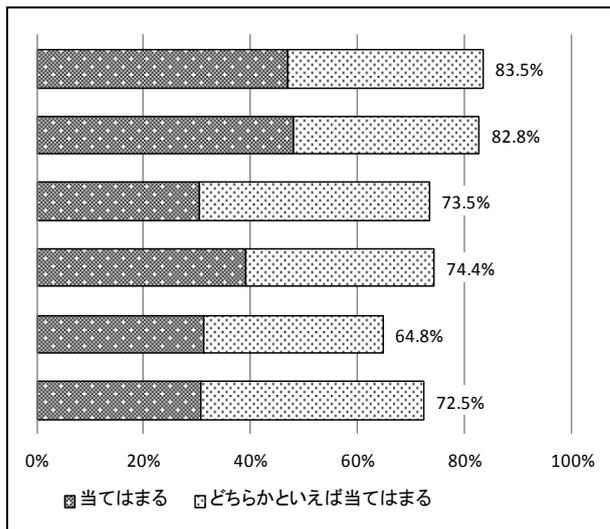
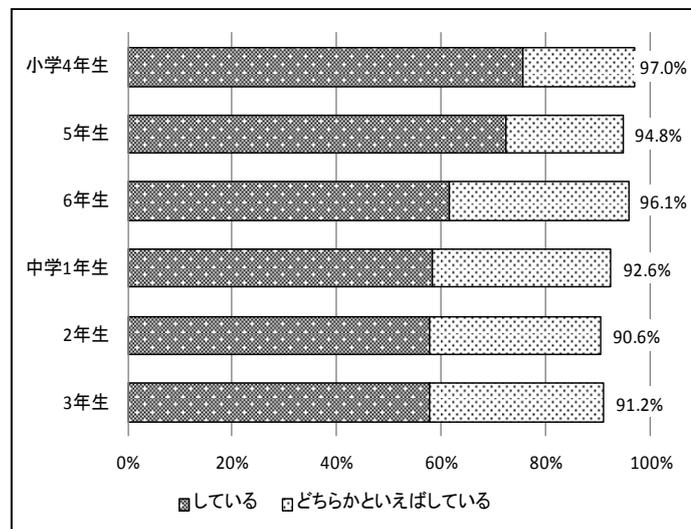
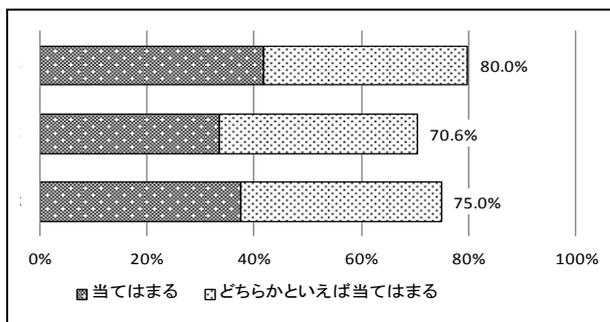
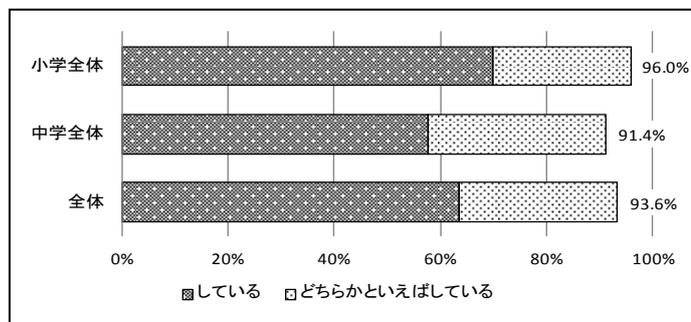
問4&問11 一人で考える学習。C4【自己思考学習】&C11【自己思考学習の好嫌】



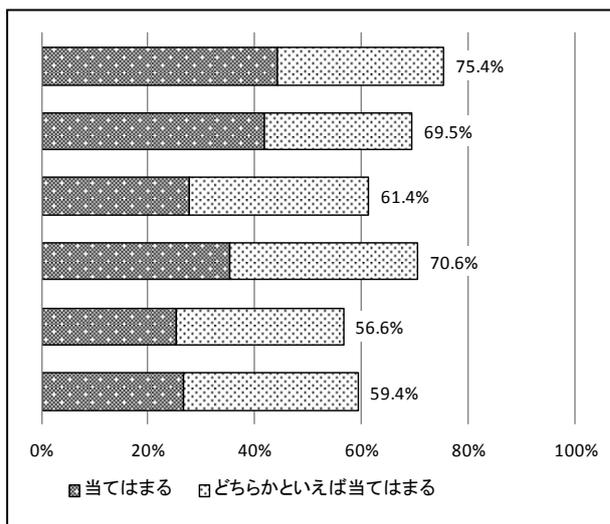
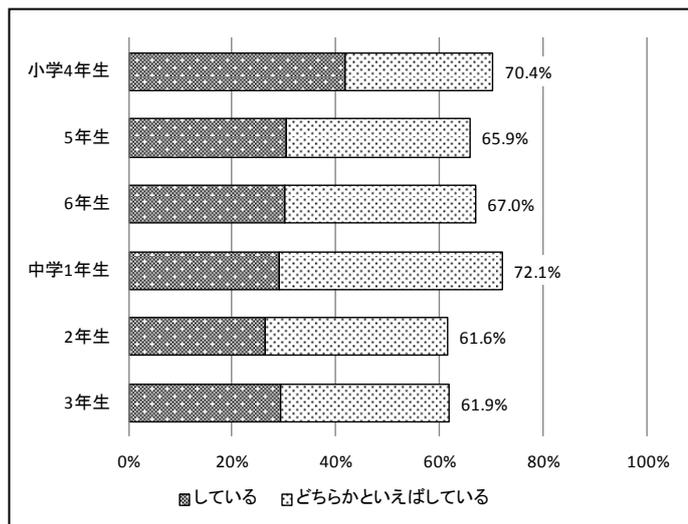
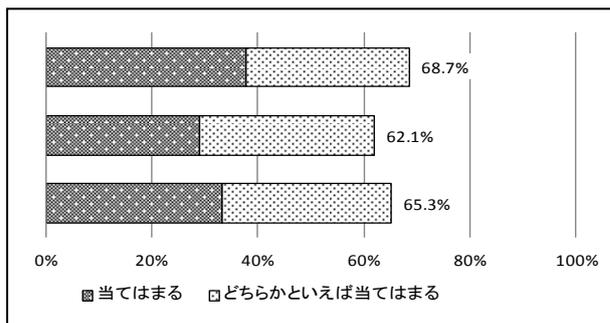
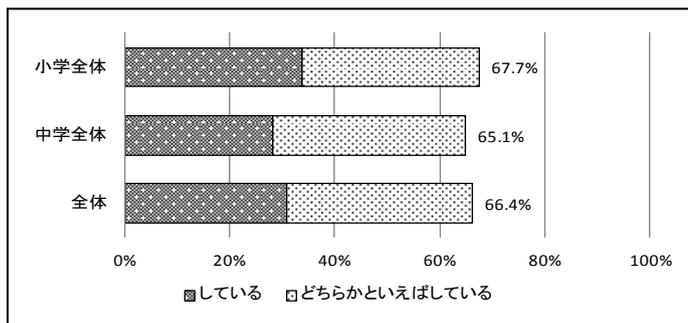
問 5 & 問 12 学級を2つ以上に分けて取り組む学習。C5【少人数学習】&C12【少人数学習の好嫌】



問 6 & 問 13 先生が課題を立てて取り組む学習。C6【教師設定課題学習】&C13【教師設定課題学習の好嫌】



問7&問14 自分たちで課題を立てて取り組む学習。C7【自己設定課題学習】&C14【自己設定課題学習の好嫌】



1【学習形態】と2【学習形態の好嫌】について

○学習形態について

- ・問1【講義形式の学習】では、小学生よりも中学生の方が実施されていると感じている。
- ・問2【グループ学習】、問3【ペア学習】、問5【少人数学習等】、問6【教師設定課題学習】については、中学生よりも小学生のほうが実施されていると感じている。
- ・問4【自力思考学習】と問7【自己設定課題学習】は、校種間で違いはない。

○学習形態の好悪について

- ・問8【講義形式の学習】は、校種間で違いはない。
- ・問9【グループ学習】、問10【ペア学習】、問11【自力思考学習】、問13【教師設定課題学習】、問14【自己設定課題学習】については、中学生よりも小学生のほうが好きだと感じている。
- ・問9【グループ学習】、問10【ペア学習】と問11【自力思考学習】を比較すると、問11【自力思考学習】が好意的でない。
- ・問12【少人数学習等】については、小学生よりも中学生のほうが好きだと感じている。
- ・問13【教師設定課題学習】と問14【自己設定課題学習】を比較すると、【自己設定課題学習】が好意的でない。

○共通して

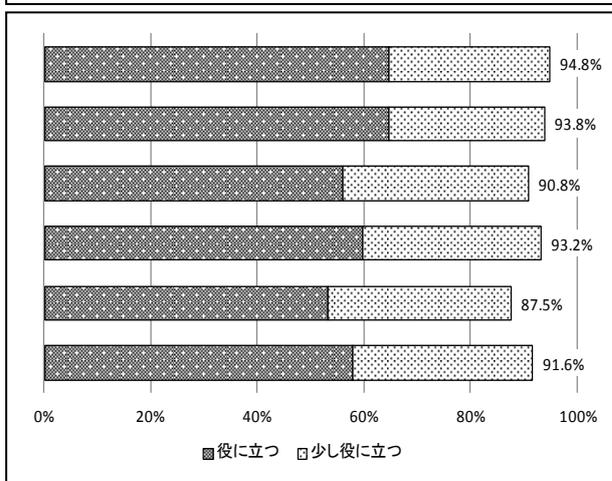
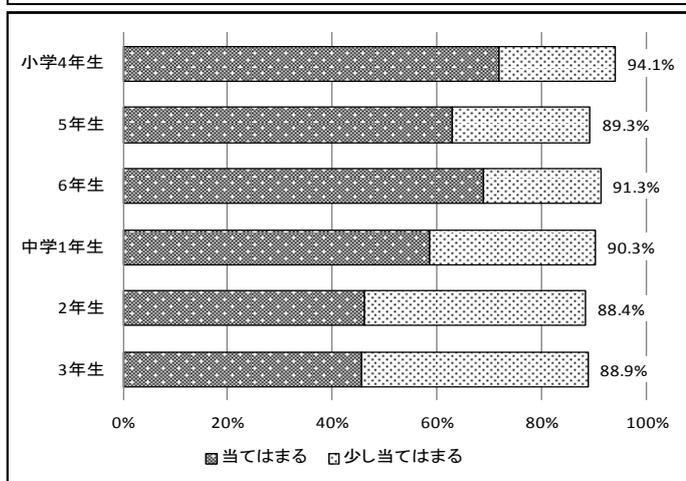
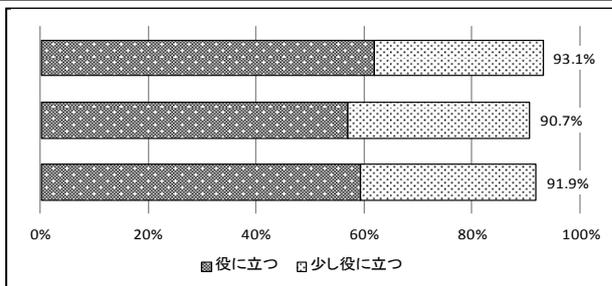
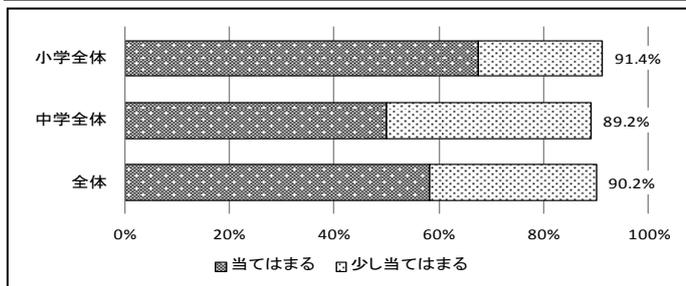
- ・問2・9【グループ学習】、問3・10【ペア学習】、問7・14【自己設定課題学習】については、中学1年生から2年生にかけて大きく変動している。

(2) 3【学習状況の認知】、4【学習状況の効用度】

3あなたがこれまでに受けた授業について、当てはまるものを選んでください。【学習状況の認知】

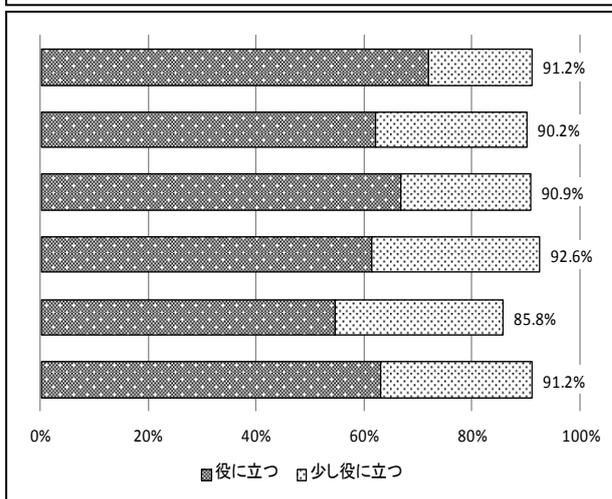
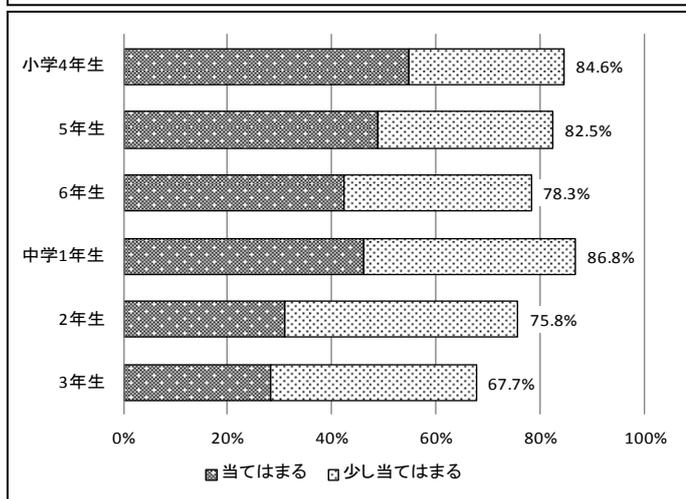
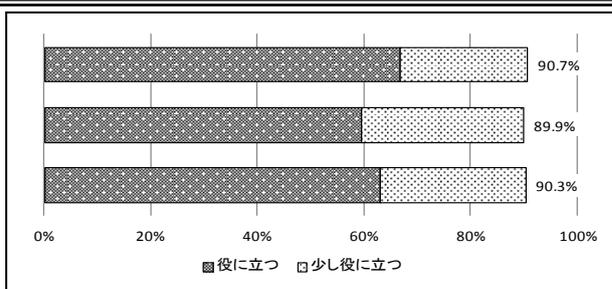
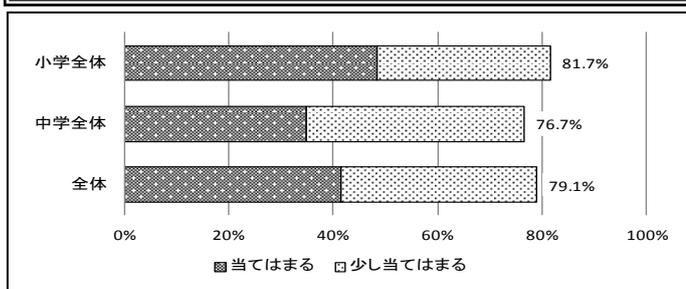
4あなたは、学力向上のために次のような授業のやり方が役立つと思いますか。  
【学習状況の効用度】

問 15&問 25 授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)の提示。C15【目標の提示】&C25【目標の提示の効用度】

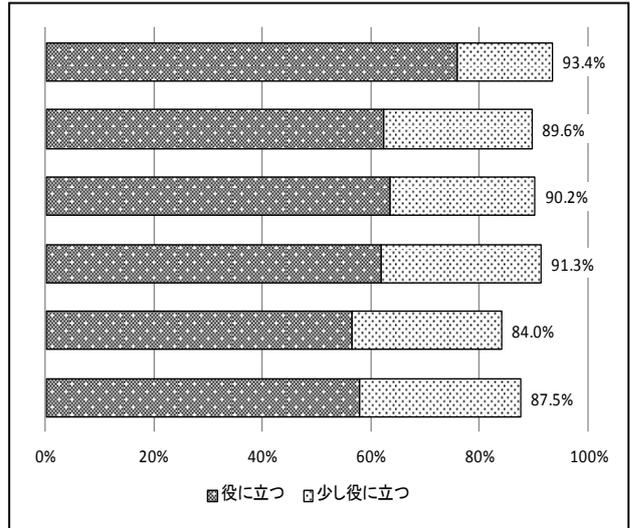
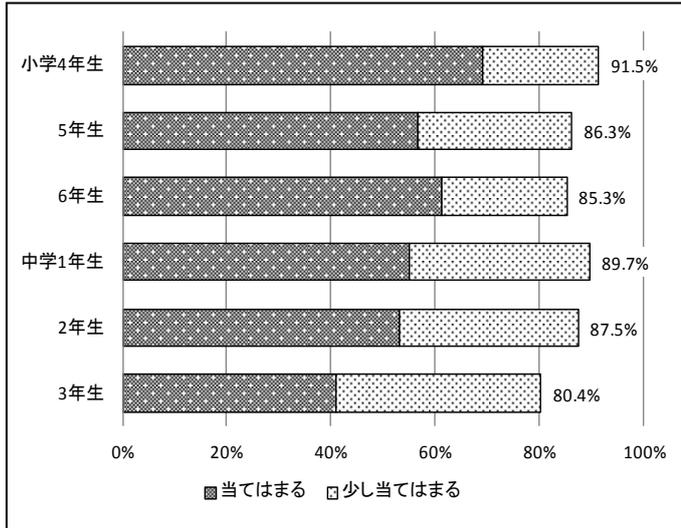
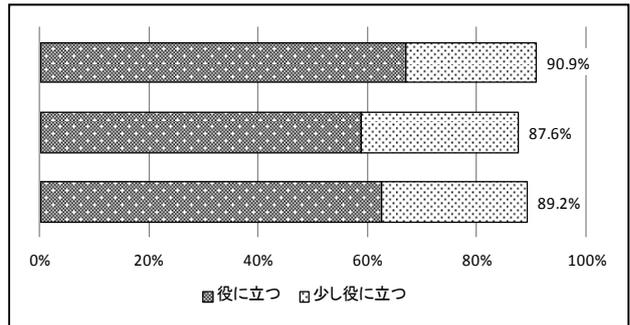
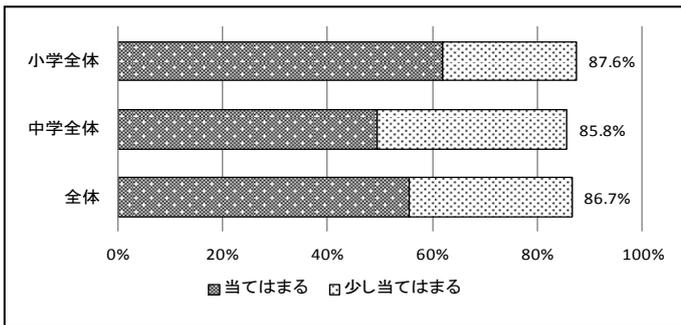


問 16&問 26 授業の最後に、学習内容を振り返り。

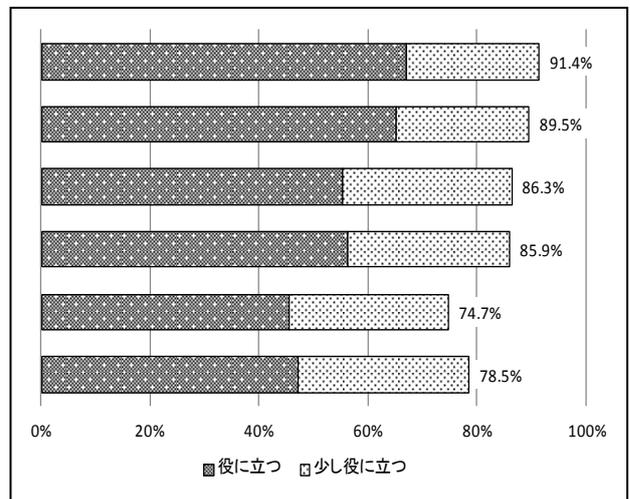
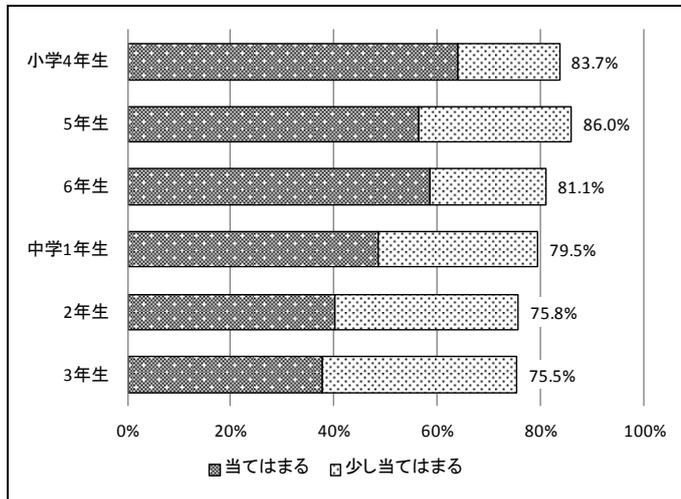
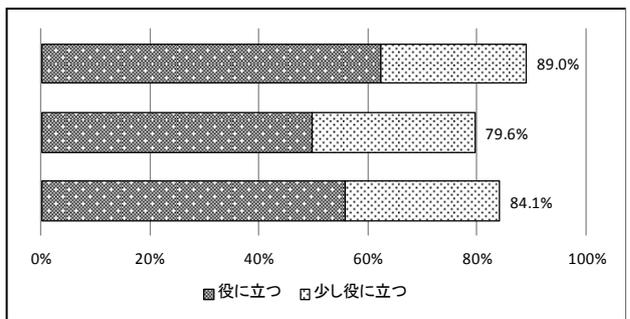
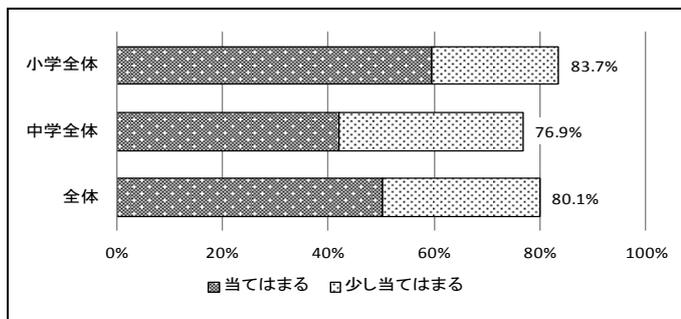
C16【振り返り活動の実施】&C26【振り返り活動の実施の効用度】



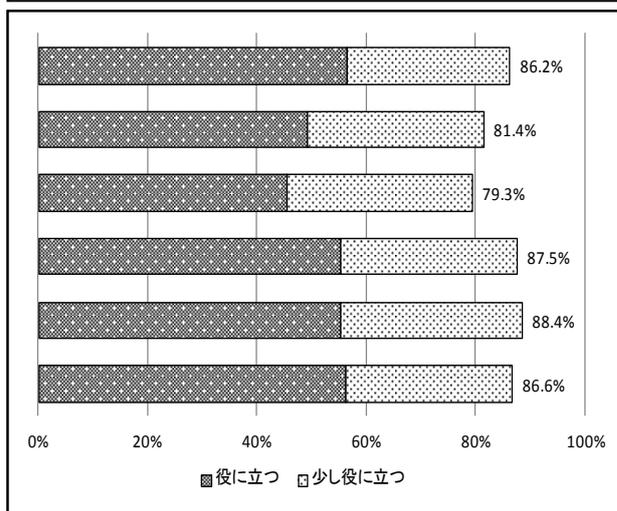
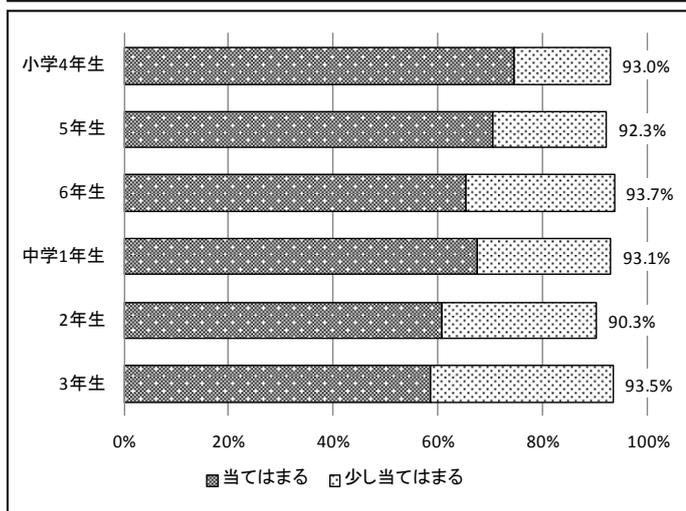
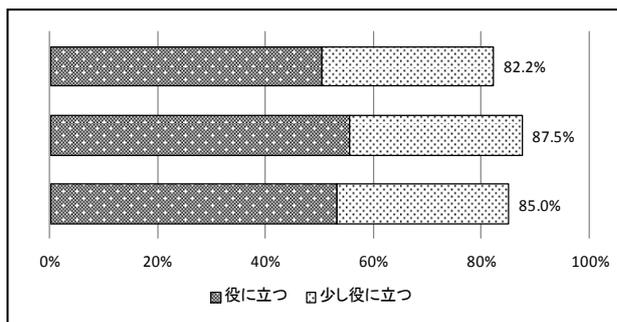
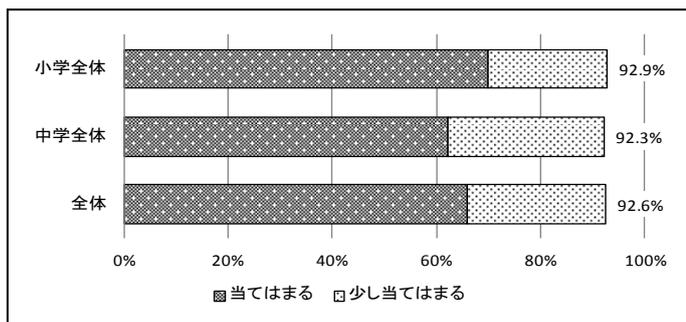
問 17&問 27 授業では、学習目標(めあて・ねらい)や振り返り(まとめ等)をノートやプリントに書く。  
 C17【目標や振り返りの転写・記述】&C27【目標や振り返りの転写・記述の効用度】



問 18&問 28 授業では、自分の考えを発表する。  
 C18【発表の機会の確保】&C28【発表の機会の確保の効用度】

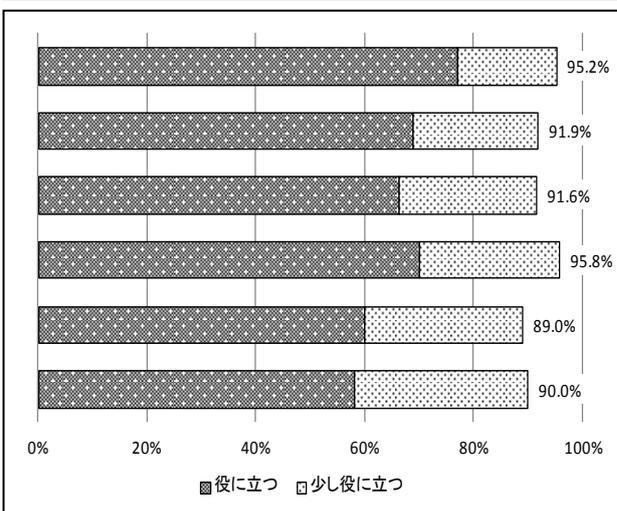
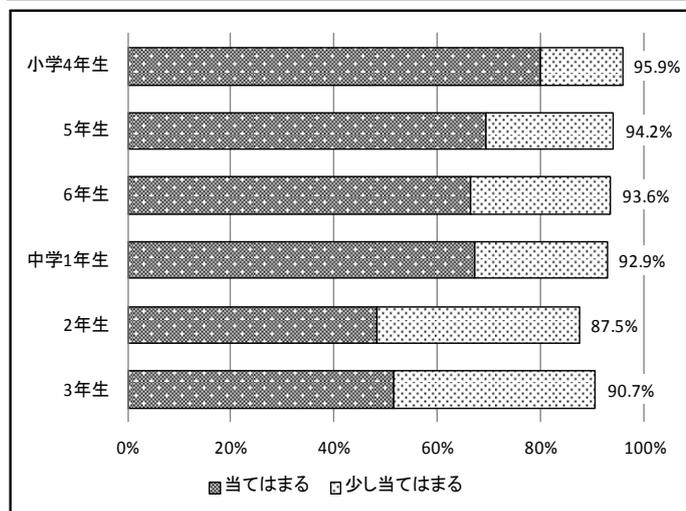
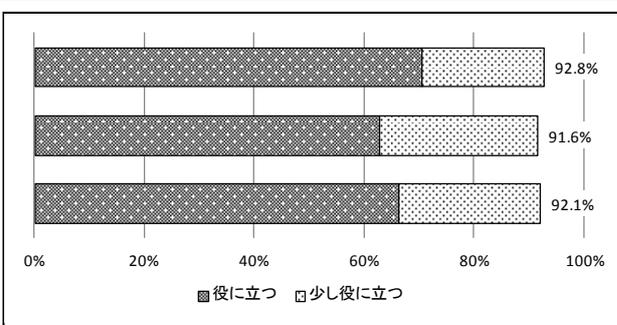
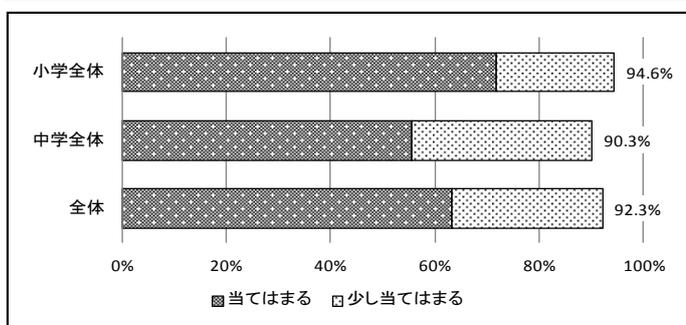


問 19 & 問 29 授業では、ひとりで考える時間。 C19【思考時間の確保】& C29【思考時間の確保の効用度】



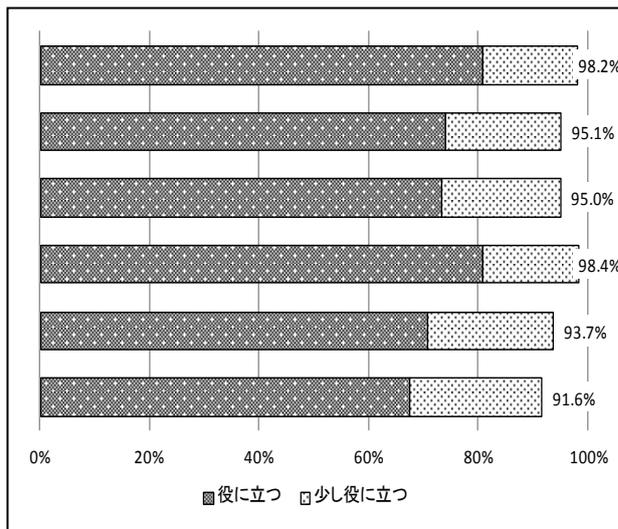
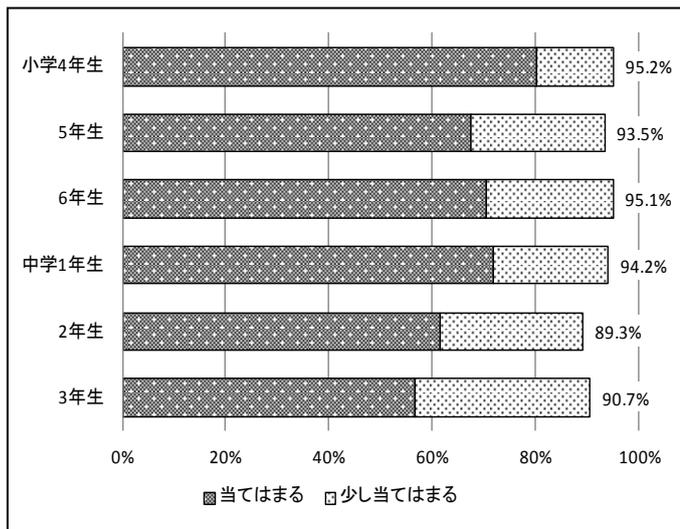
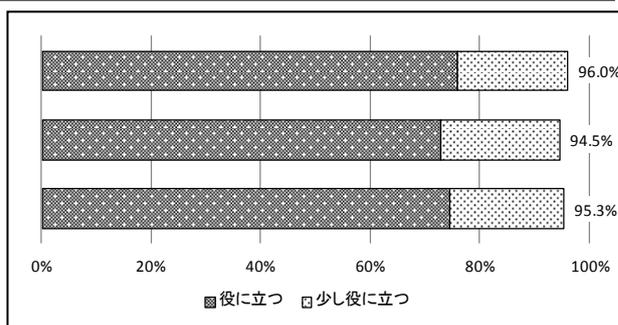
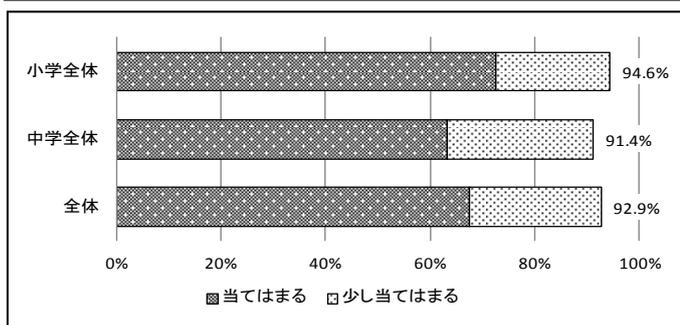
問 20 & 問 30 授業では、友だちと話す活動。

C20【話し合い活動の実施】& C30【話し合い活動の実施の効用度】



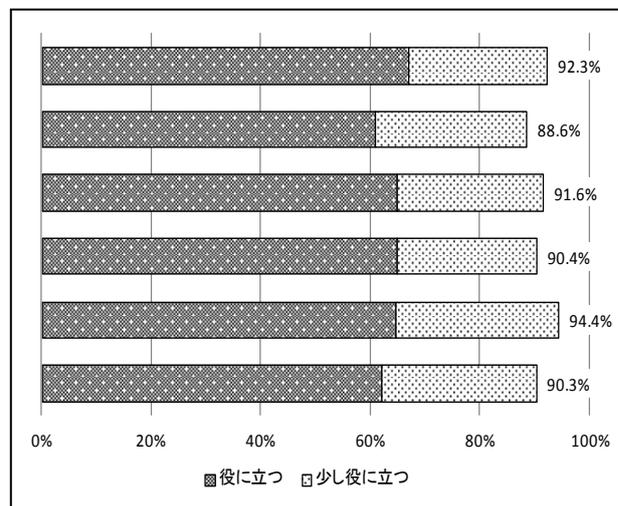
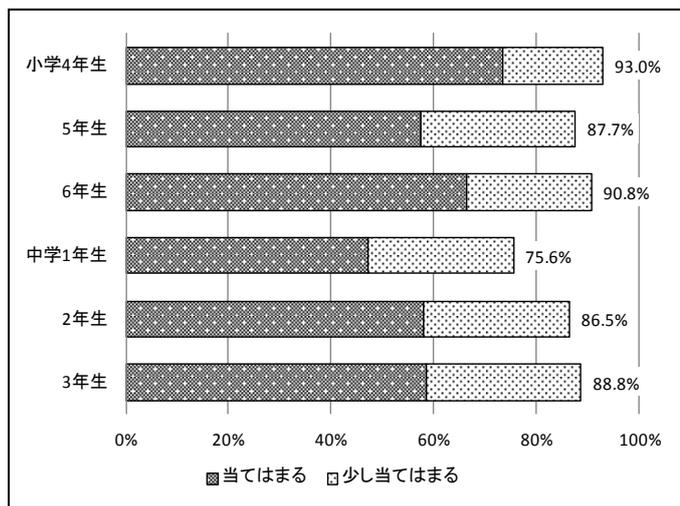
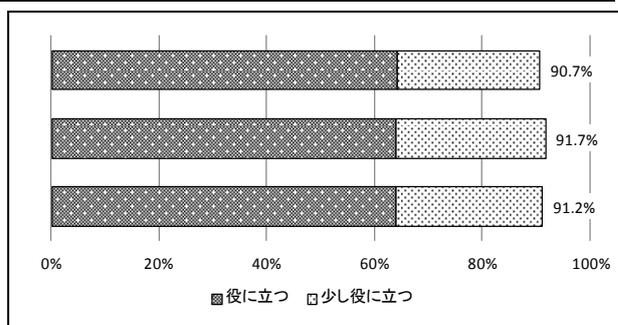
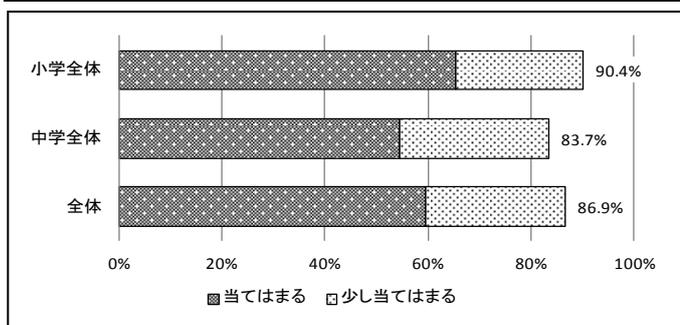
問 21 & 問 31 授業では、実験や観察、創作、実習などの作業や体験をする場面。

C21【作業・体験の実施】& C31【作業・体験の実施の効用度】



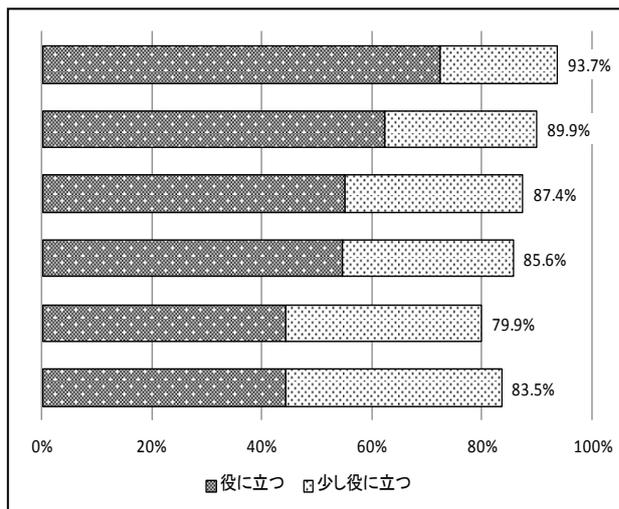
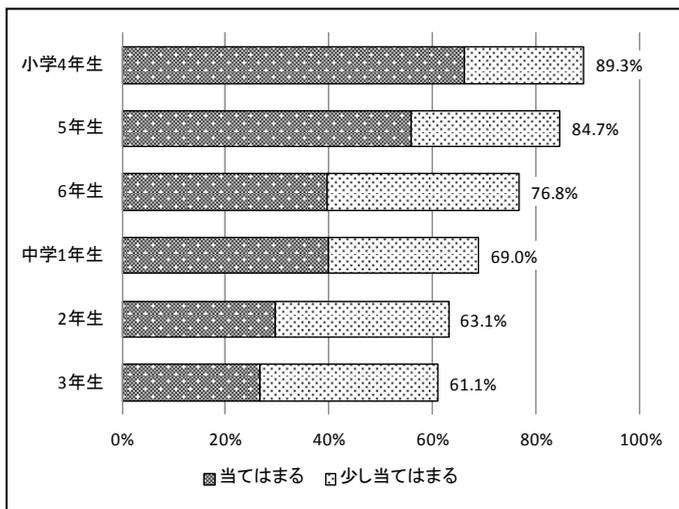
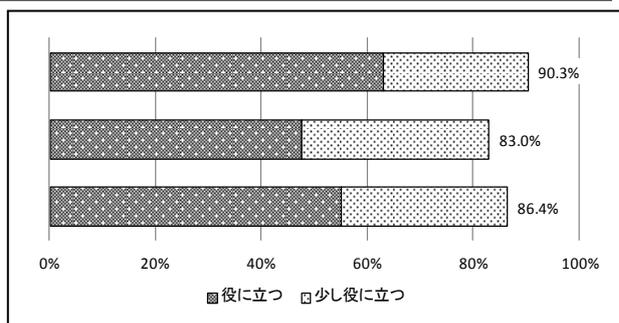
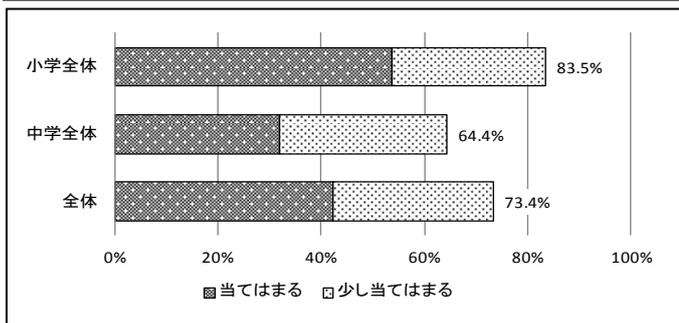
問 22 & 問 32 授業では、パソコンやプロジェクターなどの機器を活用して学習。

C22【ICT機器の活用】& C32【ICT機器の活用の効用度】



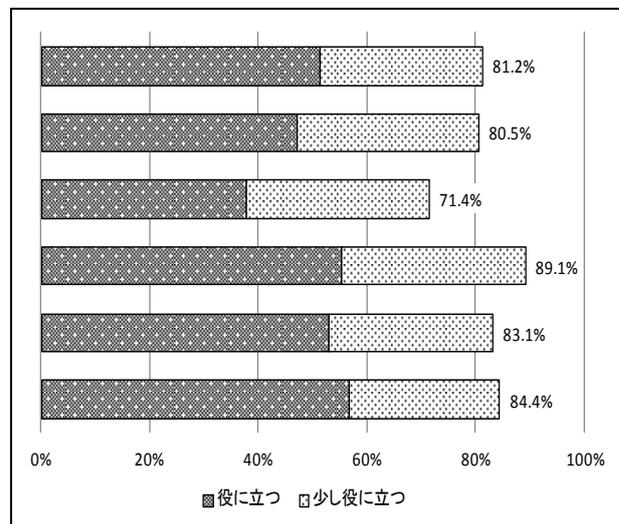
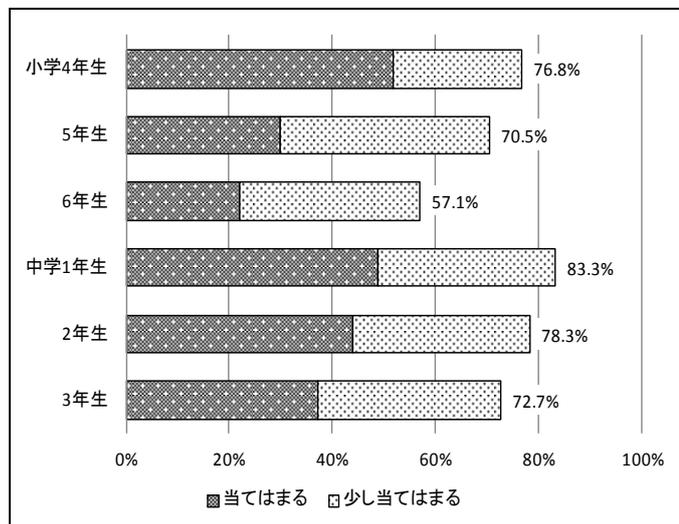
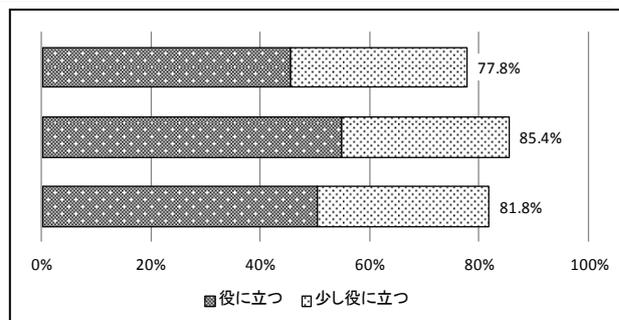
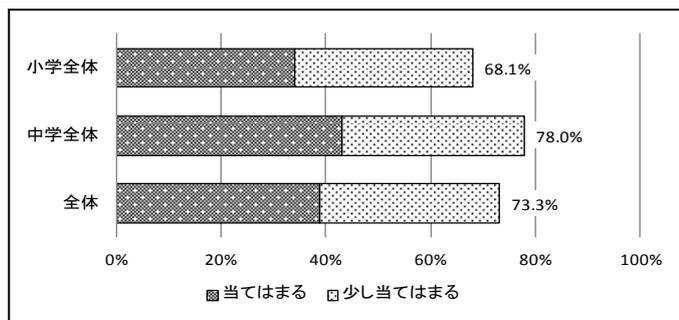
問 23&問 33 授業では、先生以外の人の説明や体験などの話を聞く。

C23【外部人材の活用】&C33【外部人材の活用の効用度】



問 24&問 34 授業では、学習する前にどんなことを評価するのかを伝えられていた。

C24【評価内容の事前説明】&C34【評価内容の事前説明の効用度】



### ③【学習状況の認知】と④【学習状況の効用度】について

- ・ほとんどの項目で③【学習状況の認知】より④【学習状況の効用度】が高くなっているが、問 19 の【思考時間の確保】と問 29 の【思考時間の確保の効用度】については、【学習状況の効用度】よりも【学習状況の認知】の方が高い。
- ・問 23 の【外部人材の活用】と問 33 の【外部人材の活用の効用度】については、外部人材の活用について、学年が上がるほど外部人材の活用が徐々に少なくなっているが、効用度はどの学年も高い。
- ・問 24 の【評価内容の事前説明】と問 34 の【評価内容の事前説明の効用度】については、中学生になると、急激に評価内容の事前説明が増えたことで、その効用度も高くなっている。
- ・子どもが感じている学習状況の効用度の上位は、1 位【作業・体験の実施】、2 位【話し合い活動】、3 位【目標の提示】、4 位【ICT 機器の活用】、5 位【振り返り活動】である。

## コラム

日本は国際的に見ると引き続き、平均得点が高い上位グループに位置！！

### OECD生徒の学習到達度調査 (PISA2015) の結果

- 科学的リテラシー、読解力、数学的リテラシーの各分野において、日本は国際的に見ると引き続き、平均得点が高い上位グループに位置している。一方で、前回調査と比較して、**読解力の平均得点が有意に低下している**が、これについては、コンピュータ使用型調査への移行の影響などが考えられる。
- 今回調査の中心分野である科学的リテラシーの平均得点について、三つの科学的能力別に見ると 日本は各能力ともに国際的に上位に位置している。
- 生徒の科学に対する態度については、OECD平均と比較すると肯定的な回答をした生徒の割合が依然として低いものの、例えば**自分の将来に理科の学習が役に立つと感じている生徒の割合が2006年に比べると増加するなどの改善**が見られた。

#### 平均得点及び順位推移

※PISA調査: OECDが15歳児(我が国では高校1年生)を対象に実施

- ・※各リテラシーが初めて中心分野となった回(読解力は2000年、数学的リテラシーは2003年、科学的リテラシーは2006年)のOECD平均500点を基準値として、得点を換算。数学的リテラシー、科学的リテラシーは経年比較可能な調査回以降の結果を掲載。中心分野の年はマークを大きくしている。
- ・※2015年調査はコンピュータ使用型調査への移行に伴い、尺度化・得点化の方法の変更等があったため、2012年と2015年の間には波線を表示している。



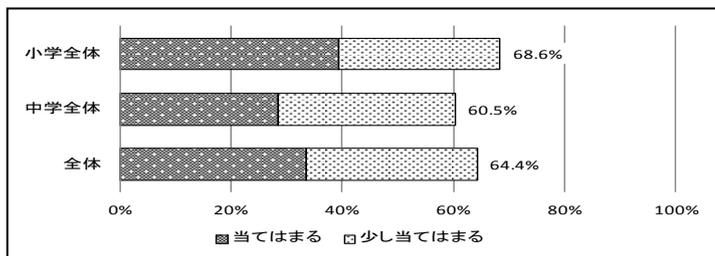
(出典) 文部科学省・国立教育政策研究所「OECD生徒の学習到達度調査 (PISA2015) のポイント」

図2 文部科学省 HP より

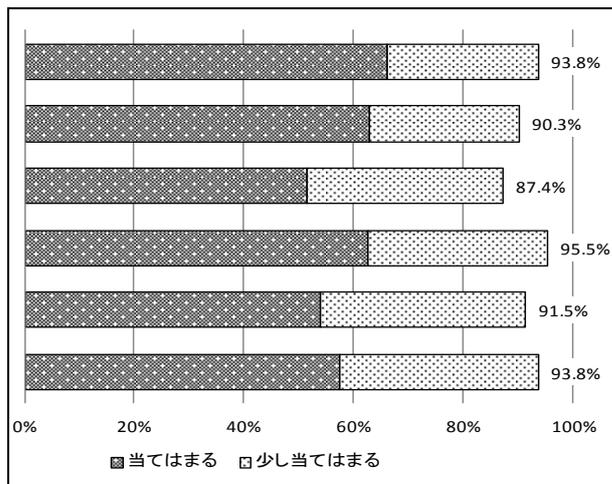
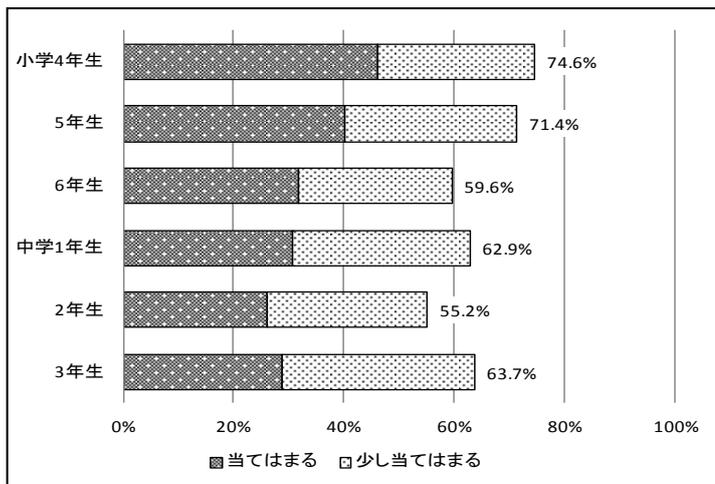
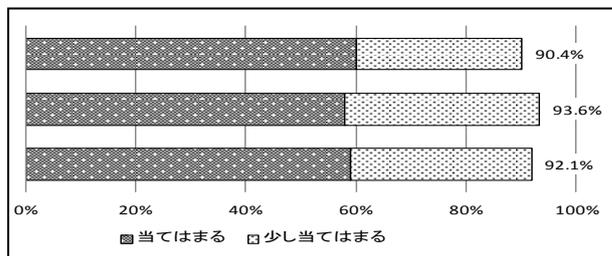
(3) 5 【学習の自己評価】

5 自分自身の学習を振り返って、当てはまるものを1つずつ選んでください。【学習の自己評価】

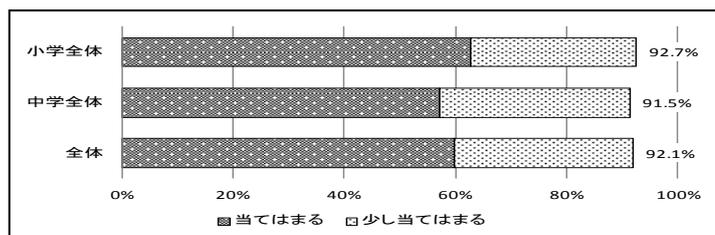
問 35 授業中、自分の考えや意見を発表することができる。  
C35【意見等の発表の自己評価】



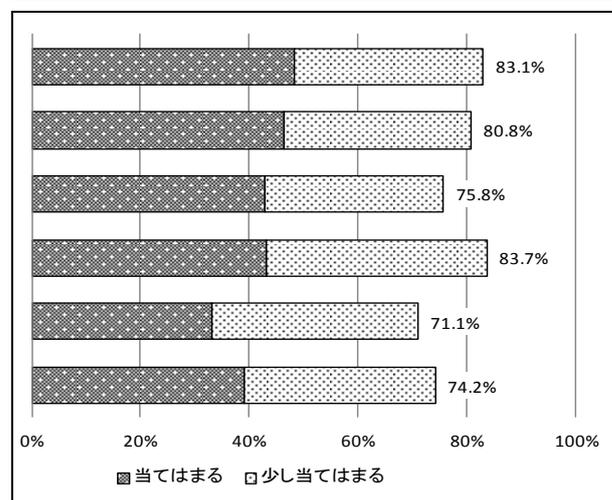
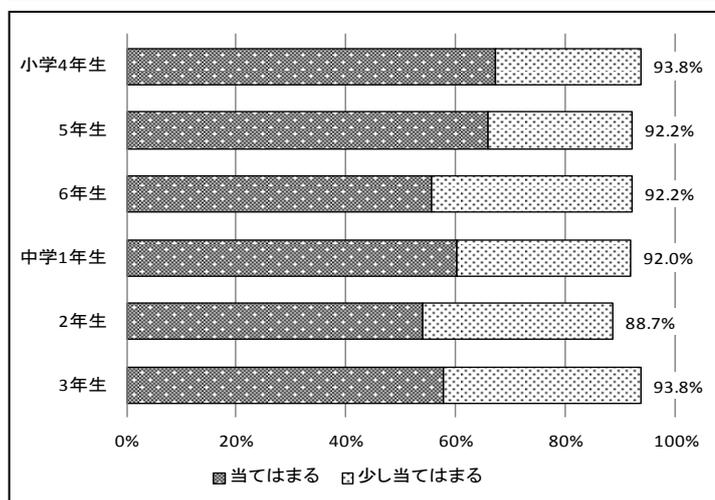
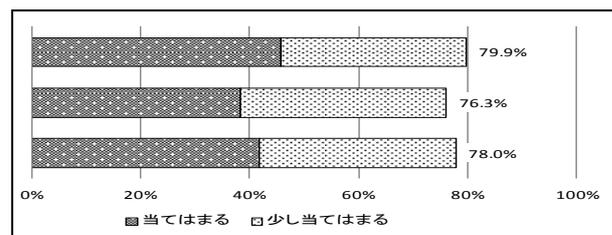
問 36 授業中、友だちの話や意見を最後まで聞くことができる。 C36【友達の話等への傾聴】



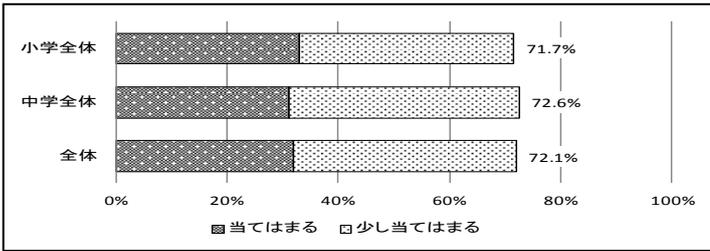
問 37 授業中、先生の話や意見を聞くことができる。  
C37【教師の話等への傾聴】



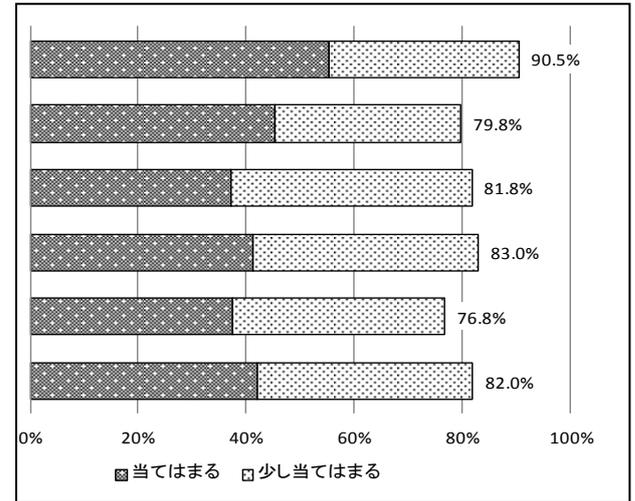
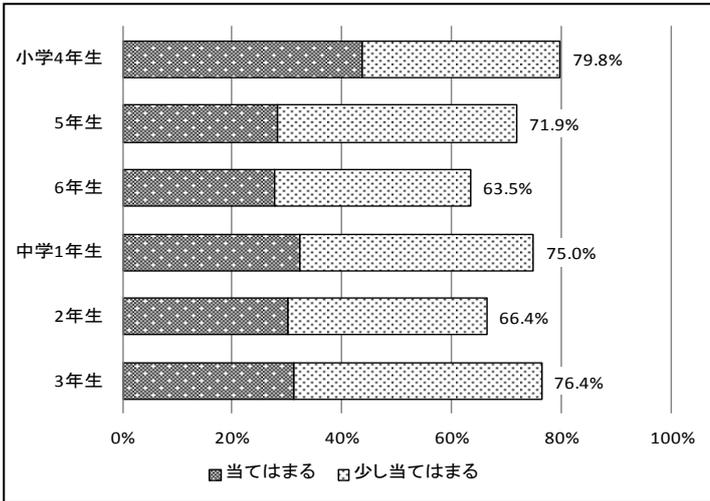
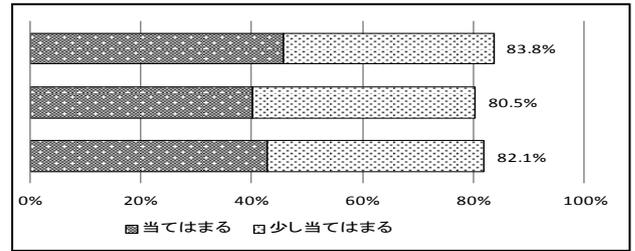
問 38 授業中、自分の考えを文章に書くことができる。  
C38【自分の考えの文章化】



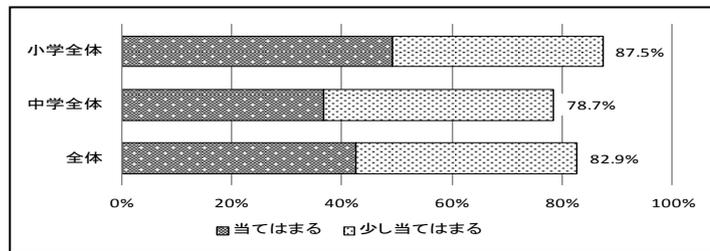
問 39 授業中、話し合う活動で自分の考えを深めたり広げたりすることができる。C39【話し合いでの思考深化】



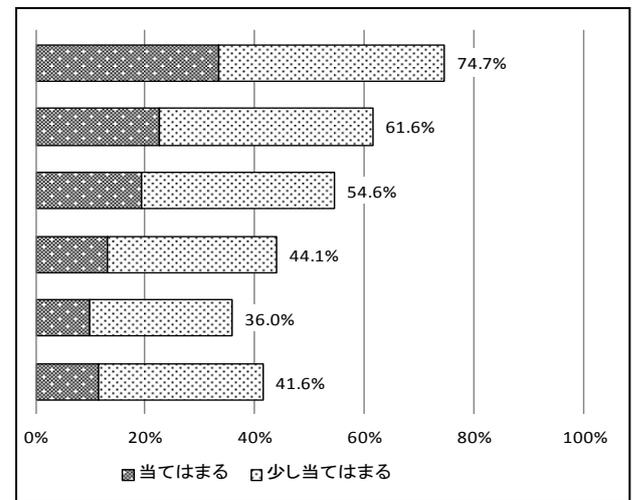
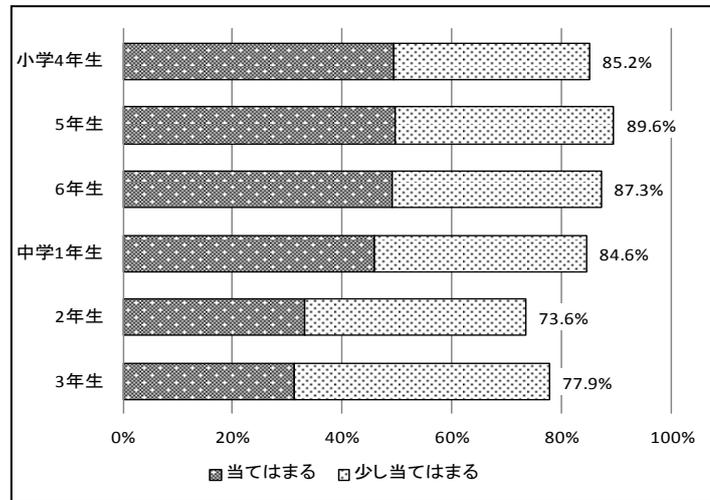
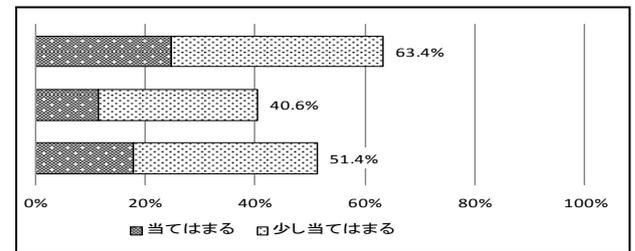
問 40 授業は、集中して取り組んでいる。C40【授業への集中度】



問 41 授業の内容は、理解できている。C41【授業内容の理解度】



問 42 勉強は、できる方だと思う。C42【学力全般の到達度】



## 5 【学習の自己評価】について

- ・中学2年生から中学3年生にかけて、問35～42のすべてにおいて肯定的な回答が増加している。
- ・コミュニケーションに関わる、問35【意見等の発表の自己評価】、問36【友達の話等への傾聴】、問38【自分の考えの文章化】、問39【話し合いでの思考深化】について、小学校では4年生から6年生にかけて肯定的な回答が減少している。中学校では、1年生から2年生にかけて減少するが、3年生で増加している。
- ・問41【授業内容の理解度】について、中学1年生から2年生にかけて肯定的な回答が減少している。
- ・問42【学力全般の到達度】については、小学4年生から中学2年生にかけて、順に減少している。
- ・問41【授業内容の理解度】と問42【学力全般の到達度】について、設問間で比較すると【学力全般の到達度】が有意に低い。

### コラム

### 言語活動力アップ

### ミニ言語活動のアイデア

#### 【話し合う力】

☆「隣の人と楽しく話そう！」

#### ペアで協力！言葉集め

- ①先生がお題を出す。（3文字の言葉、赤いもの、野菜、色）
- ②ペアで交互に言って、メモする。
- ③同じお題を何日か連続で行い、数を増やしていくことを目指す。

#### 【インタビューする力】

☆「より詳しく説明してもらおう！」

#### おうむ返しでインタビュー！

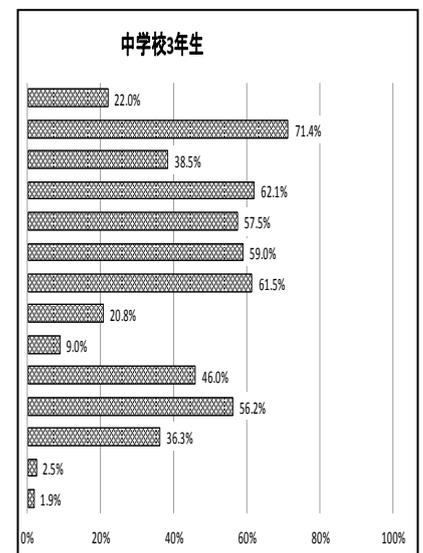
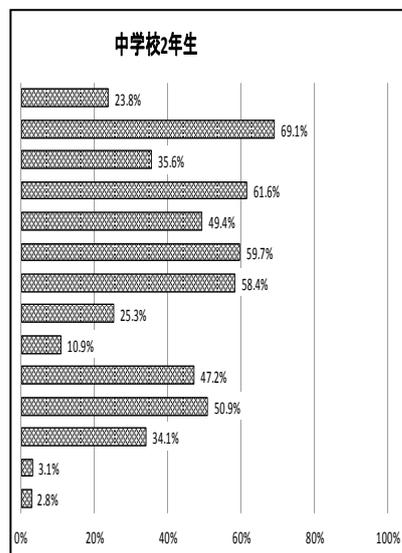
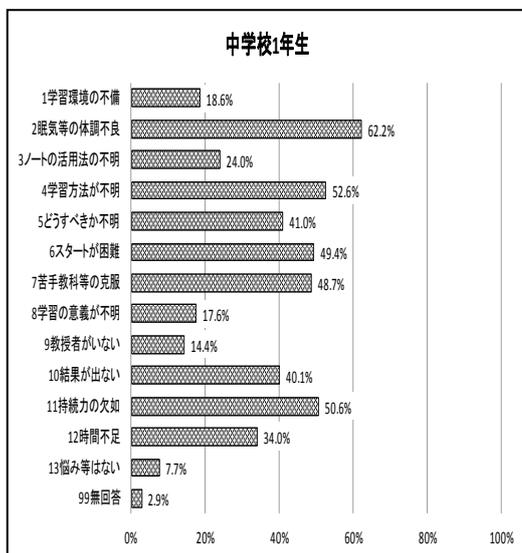
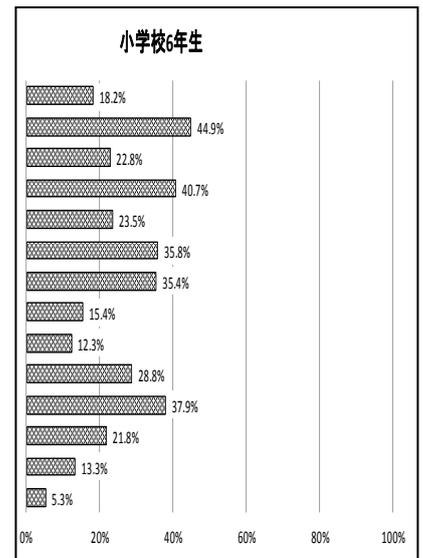
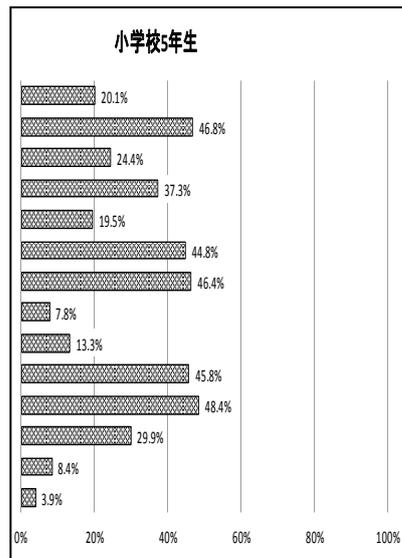
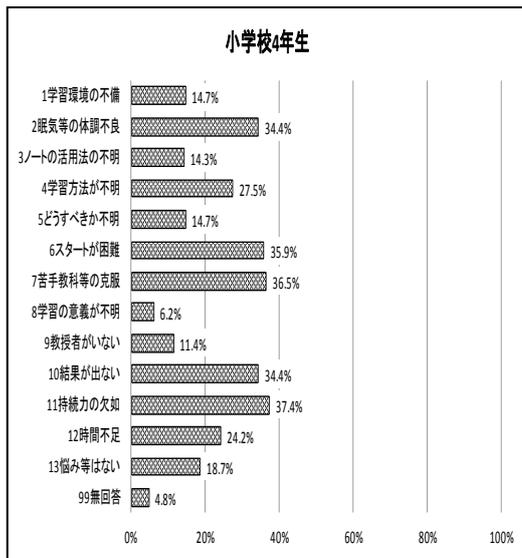
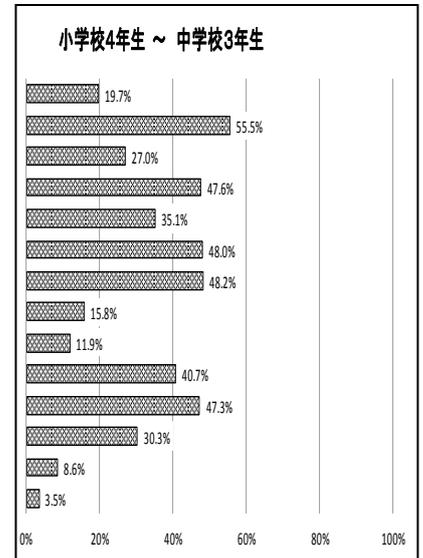
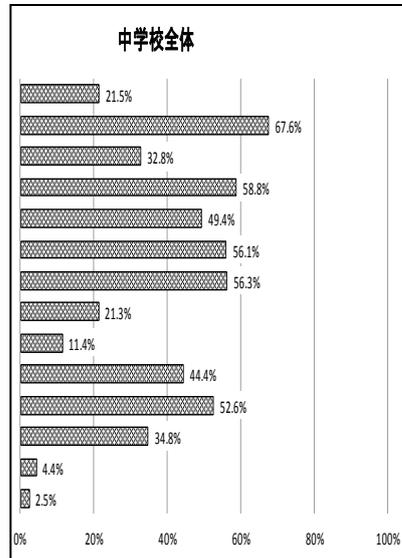
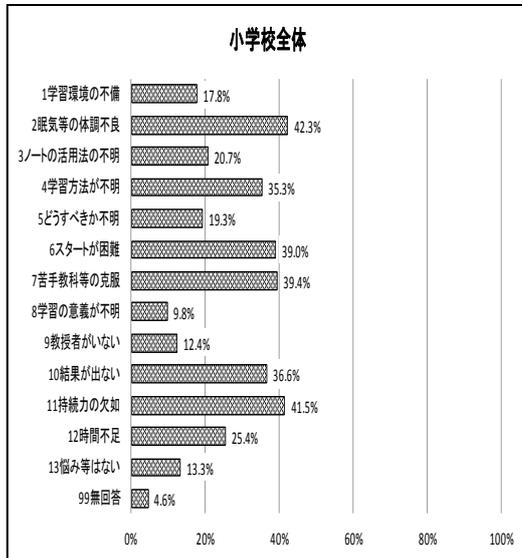
- ①インタビューされる方が、「好きな○○」などのお題に沿って、話す。
- ②聞いていた人が、気になった言葉をおうむ返しして、詳しくインタビューをする。
- ③インタビューされた人は、おうむ返しされた言葉について、より詳しく話す。

(研究員の実践より)

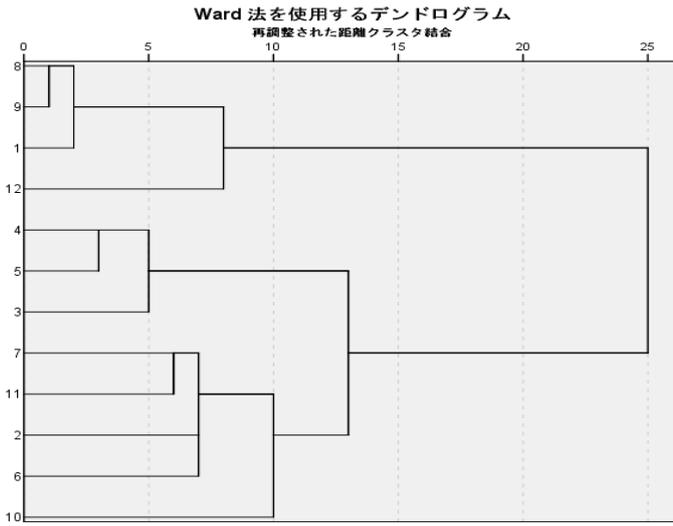
(4) 6 【学習上の悩み】

6次の問に答えましょう。【学習上の悩み】

問 43 あなたは、学習で悩んだり、困ったりしていることはありますか。当てはまるものすべてに○をつけましょ  
う。当てはまらない人は、○をつけなくてもよいです。 C43【学習上の悩み】



クラスタ分析（小中全体）



- ⑧学習の意義が不明
- ⑨教授者がいない
- ①学習環境の不備
- ⑫時間不足

外的な要因  
の悩み

- ④学習方法が不明
- ⑤対処法不明
- ③ノート活用法の不明

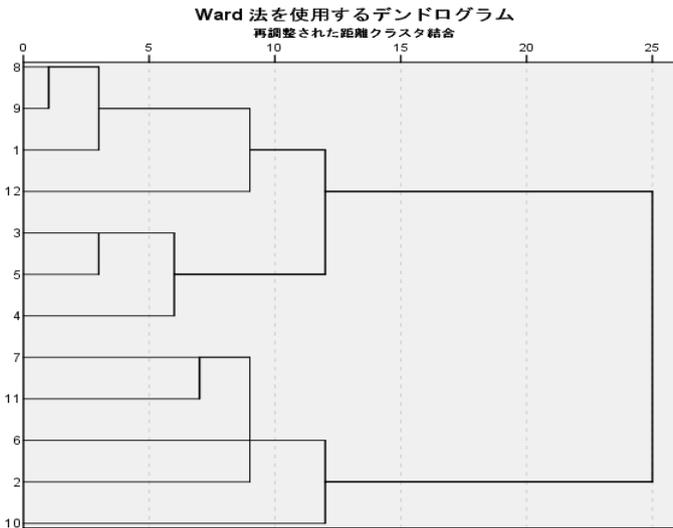
学習方法について  
の悩み

- ⑦苦手教科等の克服
- ⑪持続力の欠如
- ②眠気等の体調不良
- ⑥スタートが困難

自分が原因  
の悩み

⑩結果が出ない

クラスタ分析（小学生）



- ⑧学習の意義が不明
- ⑨教授者がいない
- ①学習環境の不備
- ⑫時間不足

外的な要因  
の悩み

- ③ノート活用法の不明
- ⑤対処法不明
- ④学習方法が不明

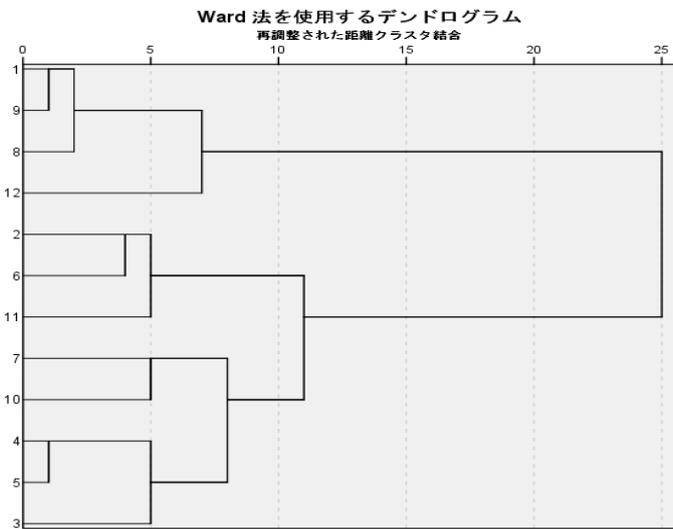
学習方法について  
の悩み

- ⑦苦手教科等の克服
- ⑪持続力の欠如
- ⑥スタートが困難
- ②眠気等の体調不良

自分が原因  
の悩み

⑩結果が出ない

クラスタ分析（中学生）



- ①学習環境の不備
- ⑨教授者がいない
- ⑧学習の意義が不明
- ⑫時間不足

外的な要因  
の悩み

- ②眠気等の体調不良
- ⑥スタートが困難
- ⑪持続力の欠如

自分が原因  
の悩み

- ⑦苦手教科等の克服
- ⑩結果が出ない

- ④学習方法が不明
- ⑤対処法不明
- ③ノート活用法の不明

学習方法について  
の悩み

図3 問43【学習上の悩み】クラスタ分析の結果

表 1 問 43【学習上の悩み】校種間の有意差の有無

設問文	設問の名称	有意差の有無
①勉強するのにあった環境が整っていない。	[学習環境の不備]	*小<中
②疲れや眠気で続けるのが難しい。	[眠気等の体調不良]	***小<中
③ノートの効果的な使い方が分からない。	[ノート活用法の不明]	***小<中
④自分に合った勉強方法が分からない。	[学習方法が不明]	***小<中
⑤何をどう勉強してよいか分からない。	[対処法の不明]	***小<中
⑥やる気はあるが、なかなか始められない。	[スタートが困難]	***小<中
⑦苦手な教科や内容ができるようにならない。	[苦手教科等の克服]	***小<中
⑧何のために勉強するか分からない。	[学習の意義が不明]	***小<中
⑨授業で分からなかったところを教えてもらいたいが、教えてくれる人がいない。	[教授者がいない]	なし
⑩やっているが良い結果に結びつかない。	[結果が出ない]	**小<中
⑪やり始めても、集中力が続かない。	[持続力の欠如]	***小<中
⑫時間がない。(他にやることがある。)	[時間不足]	***小<中
⑬悩んだり、困ったりしていることはない。	[悩み等はない]	***小>中

\* (p < 0.05) \*\* (p < 0.01) \*\*\* (p < 0.001)

6【学習上の悩み】について

- ・図3のクラスタ分析の結果より、校種間で若干の違いがあるものの、「学習上の悩み」については、「外的な要因の悩み」「学習方法についての悩み」「自分が原因の悩み」の3つに分類することができる。
- ・「学習上の悩み」について校種間で比較すると、中学生の方が多くの悩みを抱えていることがわかる。(表1より)
- ・小学生と中学生の学習上の悩みを値が大きい順に並べるとこのようになる。

小学校		中学校	
順位	学習上の悩み	順位	学習上の悩み
1位	②眠気等の体調不良	1位	②眠気等の体調不良
2位	⑪持続力の欠如	2位	④学習方法が不明
3位	⑦苦手教科等の克服	3位	⑦苦手教科等の克服
4位	⑥スタートが困難	4位	⑥スタートが困難
5位	⑩結果が出ない	5位	⑪持続力の欠如
6位	④学習方法が不明	6位	⑤どうすべきか不明

- ・小・中学校とも、1位は「②眠気等の体調不良」である。
- ・「④学習方法が不明」の項目が、小学生と中学生を比較すると、大きく増えている。

(5) 7 【普段の家庭生活の時間の使い方状況】

7 次のことについて、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間行っていますか。当てはまるものを1つ選んでください。【普段の家庭生活の時間の使い方状況】

※1時間以上と回答している児童・生徒について、グラフで表している。

問 44 携帯電話やスマートフォン、パソコンで通話やメール、インターネットをする時間。(携帯電話やスマートフォン、パソコンを使ってゲームをする時間は除きます。)

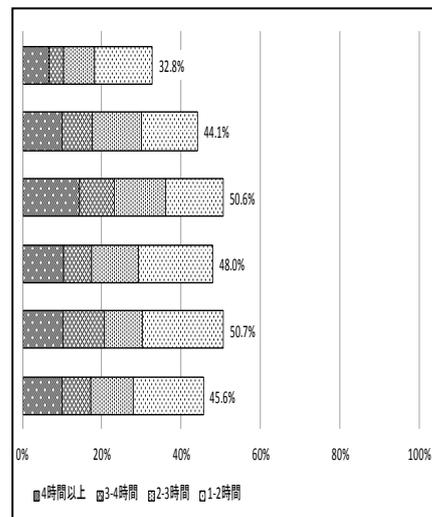
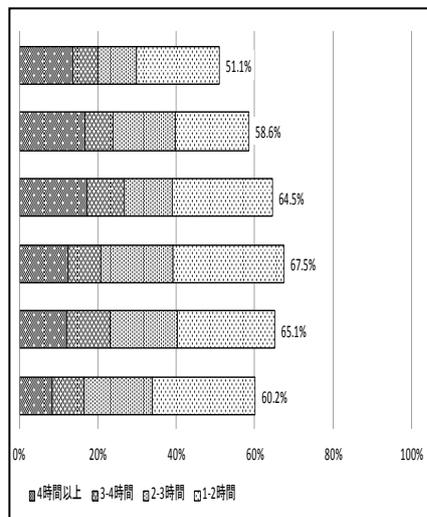
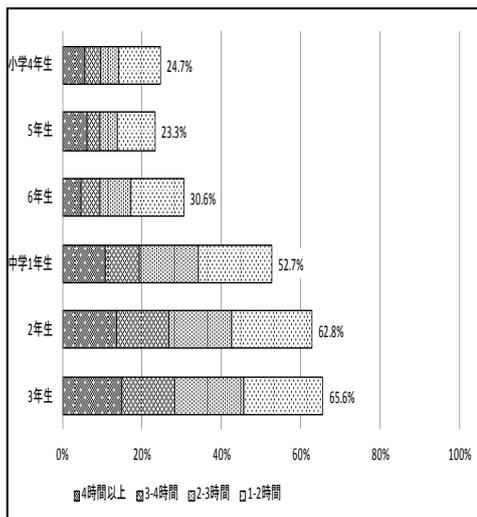
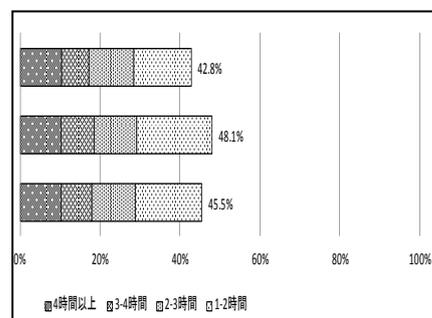
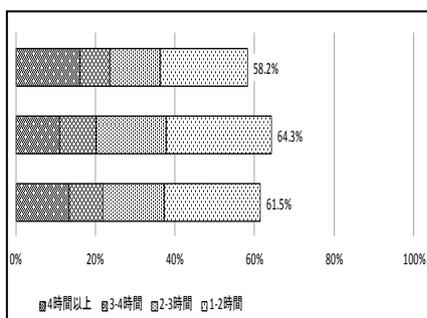
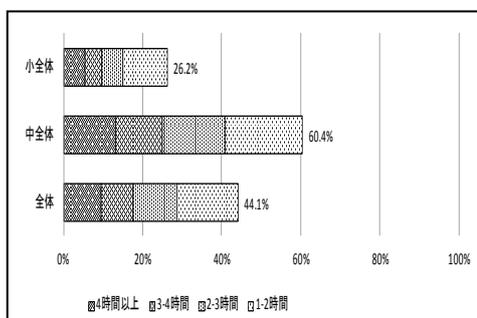
C44【携帯等の利用時間】

問 45 テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりする時間。(勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間、テレビゲームをする時間は除きます。)

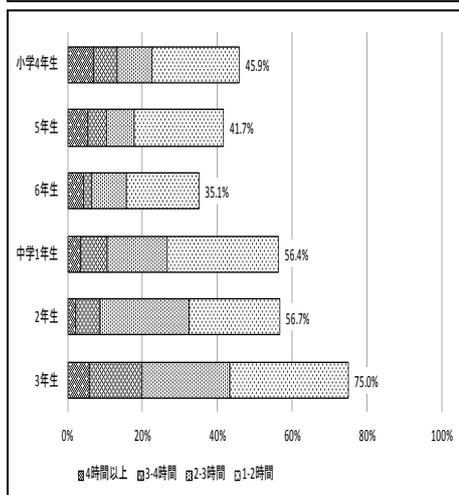
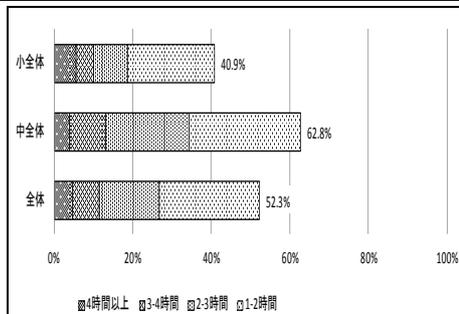
C45【TV等の視聴時間】

問 46 テレビゲームをする時間。(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォン、パソコンを使ったゲームも含みます。)

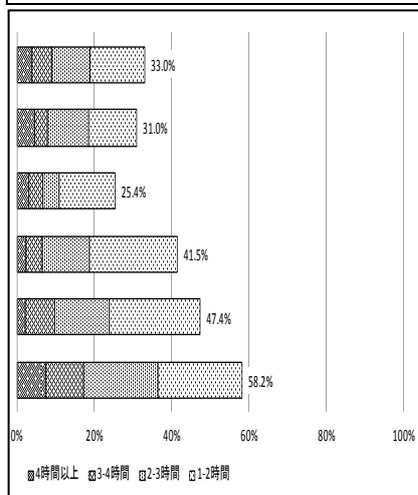
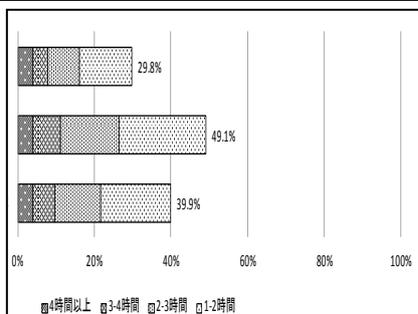
C46【TVゲームの従事時間】



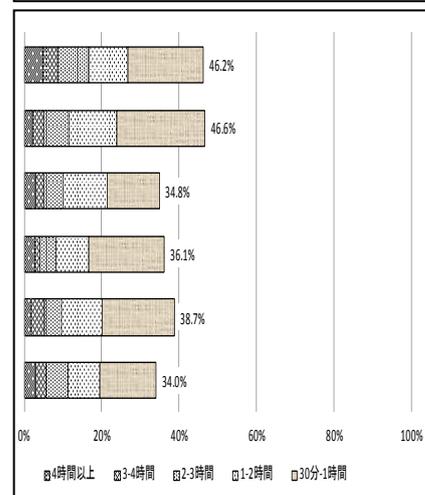
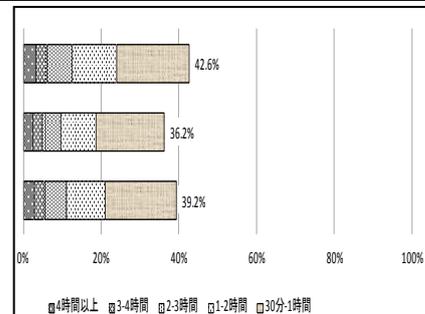
問 47 勉強をする時間。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間を含みます。)  
C47【学校外での学習時間】



問 52 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、一日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間を含みます。)  
C52【学校休業日の学習時間】



問 48 読書をする時間。(教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。)  
C48【学校外での読書時間】  
(※全国学力・学習状況調査に合わせて、読書30分以上の数値を表に表している。)



## 7 【普段の家庭生活の時間の使い方状況】について

- ・問 44【携帯電話等の利用時間 (スマートフォン、パソコンで通話やメール、インターネット)】について、1時間以上使用している中学生は、中学1年生 52.7%、2年生 62.8%、3年生 65.6%と学年が上がるにつれ利用時間が増えている。
- ・問 45【TV等の視聴時間 (テレビやビデオ・DVD)】について、1時間以上視聴している子どもは、小学4年生から中学1年生までは増えていき、その後下がっている。どの学年も50%以上の値である。
- ・問 46【テレビゲームをする時間】について、1時間以上ゲームをしている子どもは、小学4年生から6年生にかけて増えている。
- ・問 47【学校外での学習時間 (平日)】について、1時間以上勉強している小学生は、学年が上がるにつれ減っている。中学生では、1・2年生で56%台、3年生で75%と増えている。
- ・問 52【学校休業日の学習時間】について、1時間以上勉強している小学生は、学年が上がるにつれ減っている。中学生は、学年が上がるにつれ増えている。
- ・問 47【学校外での学習時間 (平日)】と問 52【学校休業日の学習時間】について、設問間で比較すると【学校休業日の学習時間】の方が低い。
- ・問 48【読書をする時間】について、30分以上読んでいる子どもは、小学5年生から小学6年生にかけて有意に減り、小学6年生から中学3年生については30%台を推移している。読書習慣のある子どもとそうでない子どもに分けられると考えられる。

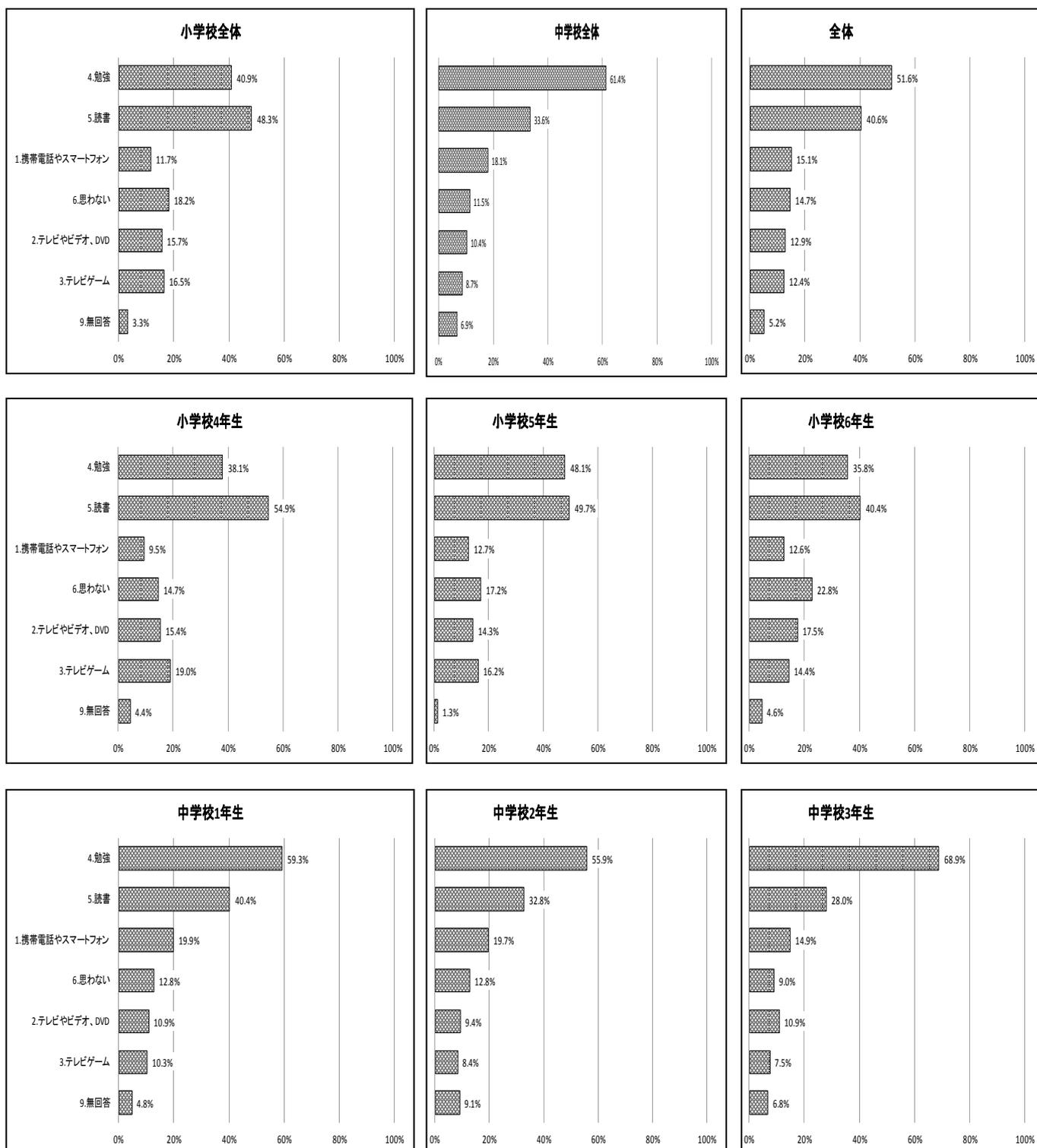
(6) 8【家庭生活の状況】、9【家庭での学習について】

8 次のことについて、当てはまるものを選んで○をつけてください。【家庭生活の状況】

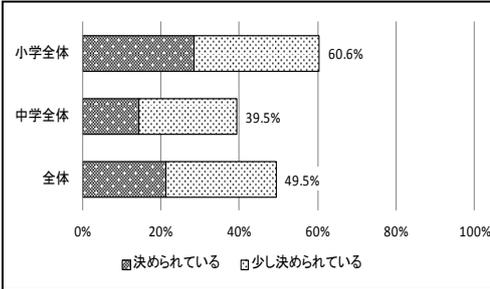
9 家での勉強について、当てはまるものを1つずつ選んでください。【家庭での学習について】

問 49 普段(月曜日から金曜日)、次のことについて、増やしたいと思っているものはありますか。この質問については2つまで○をつけてよいです。C49【増やしたい生活時間】

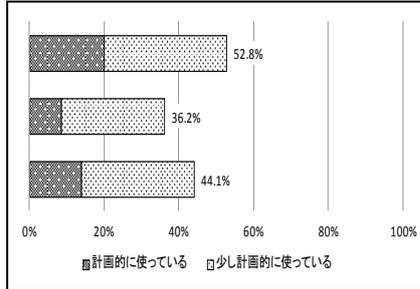
(1 携帯電話やスマートフォン-2 テレビやビデオ・DVD-3 テレビゲーム-4 勉強-5 読書-6 思わない)



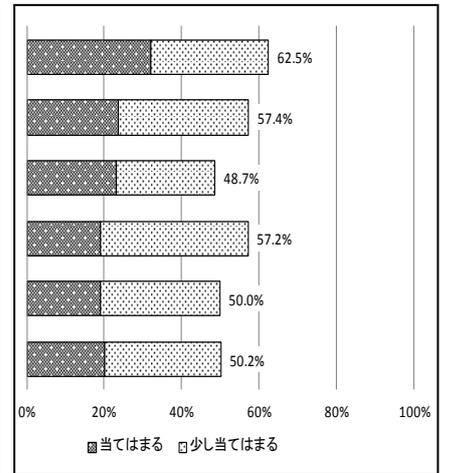
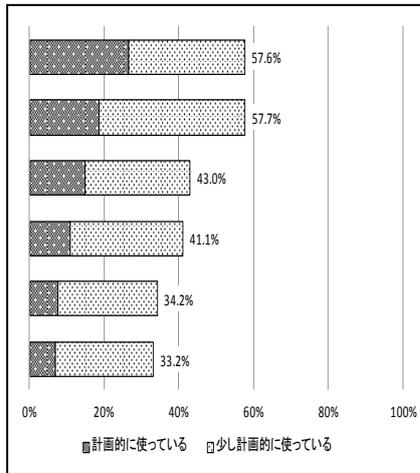
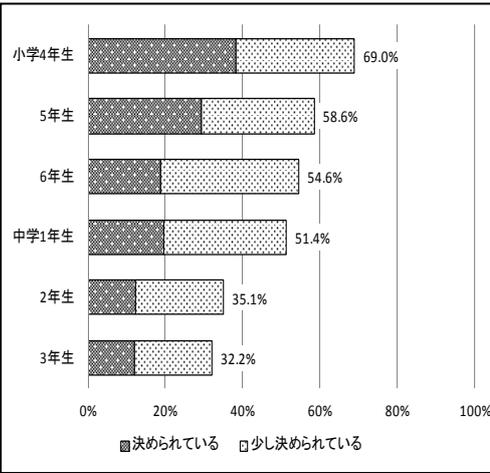
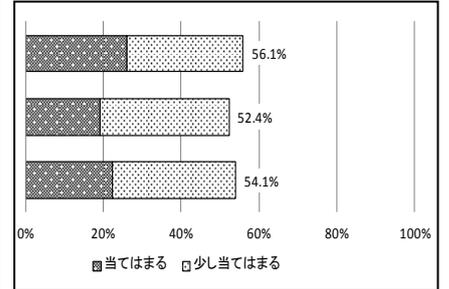
問 50 普段(月曜日から金曜日)の家での過ごし方について、家の中で、ルールが決められていますか。  
C50【家庭生活上のルールの有無】



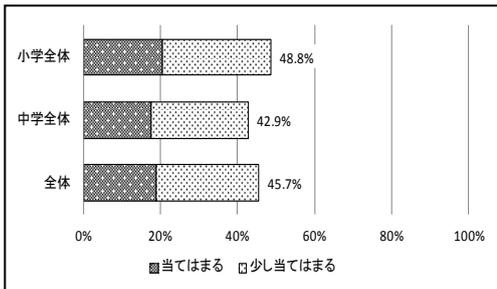
問 51 普段(月曜日から金曜日)の家での過ごし方について、自分で計画して時間を使っていますか。  
C51【家庭生活の計画性】



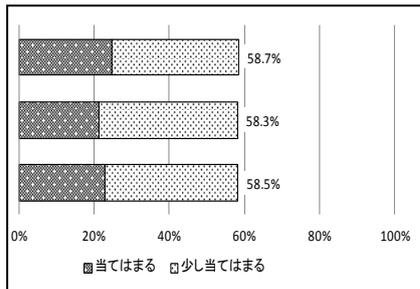
問 53 自分で計画を立てて勉強している。  
C53【計画的な家庭学習の実施】



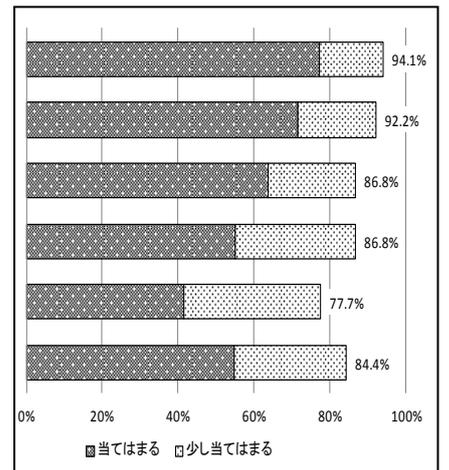
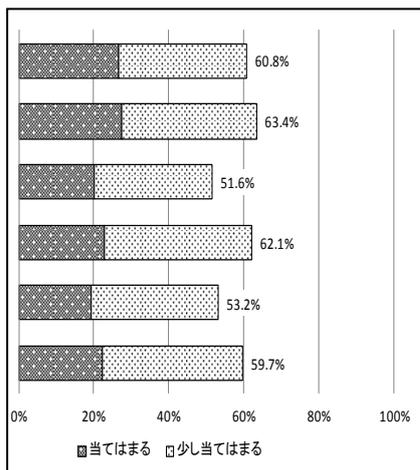
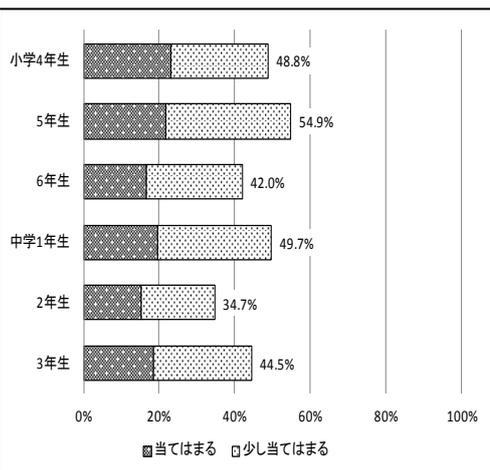
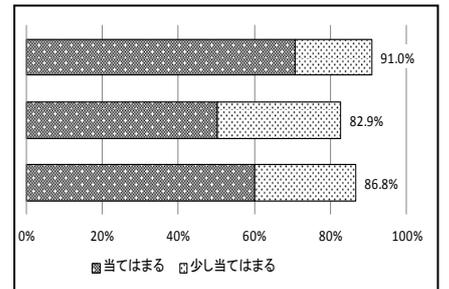
問 54 学校の授業の予習をしている。  
C54【授業の予習の実施】



問 55 学校の授業の復習をしている。  
C55【授業の復習の実施】



問 56 学校で出された宿題(課題)を必ずしている。  
C56【宿題の実施】



## 8【家庭生活の状況】、9【家庭での学習】について

- ・問 49【増やしたい生活時間】について、小学生の増やしたい時間の1位は「読書」2位は「勉強」、中学生の1位は「勉強」2位は「読書」である。
- ・問 50【家庭生活上のルールの有無】では、学年が上がるにつれて、家の中でのルールが決められていない現状がある。
- ・問 54【授業の予習の実施】、問 55【授業の復習の実施】、問 56【宿題の実施】を比較すると、予習に対する意識が一番低く、宿題（課題）に対する意識が一番高い。

## コラム

## 予習をやってみよう！！

予習って  
なんのためにするの？

### 予習のいいところ♪

#### ①理解度アップ

予め学習を見通すことにより、学習の道筋が立ち、理解度が高まる。授業中には、一度考えた内容を確認する思考が働くので、より理解度が高まる。

#### ②スタートダッシュ

予習しておくことで、授業の導入から同じ方向性の問題意識を持って授業に臨める。課題に対する意識が同方向に集中し、スムーズに学習に取り組むことができる。

#### ③自己肯定感・学び合い力アップ ⇒ 学習意欲アップ

上記のような効果によって、授業内で理解できることに自信が持てるし、さらに、友達に教えて助けてあげられる充実感を味わうことができる。自ら進んで学ぶことの楽しさを知り、学習意欲が上がっていく。

### おすすめの予習の取り組み方

☆無理はしない。教科書の内容を、すべて理解できなくてもいい。

☆わかることと、わからないことをはっきりさせておく。わからないところに付箋を貼るだけで良い。質問したいことを書いておくとすばらしい。

☆予習した問題に関連する既習事項を忘れてしまっている場合は、しっかり復習しておく。

付箋を貼っているところ  
は、集中してきこう♪



(研究会での話し合いより)